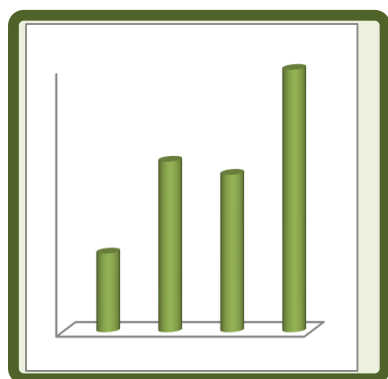
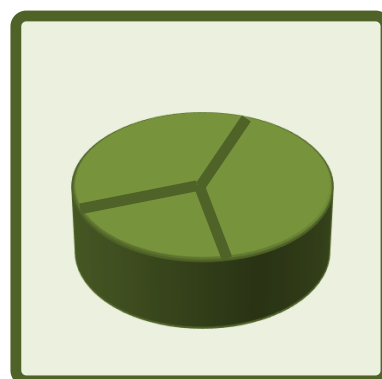


目で見る 北海道貿易



「目で見える北海道貿易」について

この度「目で見える北海道貿易2023」を取りまとめました。

本資料は、財務省の「貿易統計」をもとに、2022年の北海道貿易に関する統計データを視覚化し、北海道貿易の現状をわかりやすくとらえることを目的として取りまとめたものです。

本資料の作成においては、財務省関税局や函館税関が発表している統計・資料を利用し、下記に基づき作成しています。

1. 統計地域

本資料における貿易額は、函館税関が管轄する北海道に蔵置された貨物の通関額です。

2. 統計計上の時期

輸出は当該貨物の積載する船舶又は航空機が出港する日、輸入は当該貨物の輸入許可（承認）の日となります。

3. 価額（輸出入額）

輸出はFOB価格、輸入はCIF価格を用いています。

4. 統計の段階

貿易統計は、速報→確報→確々報→確定という段階を踏み統計数値が修正されます。2022年度普通貿易統計の確定は2023年11月公表予定のため、本資料は速報性を重視し、2023年3月公表の確々報に基づき作成しています。

本資料は、こちらからダウンロードすることも可能です。

「目で見える北海道貿易2023」（PDF形式）

⇒ <https://www.jetro.go.jp/jetro/japan/hokkaido/trade.html>

目 次

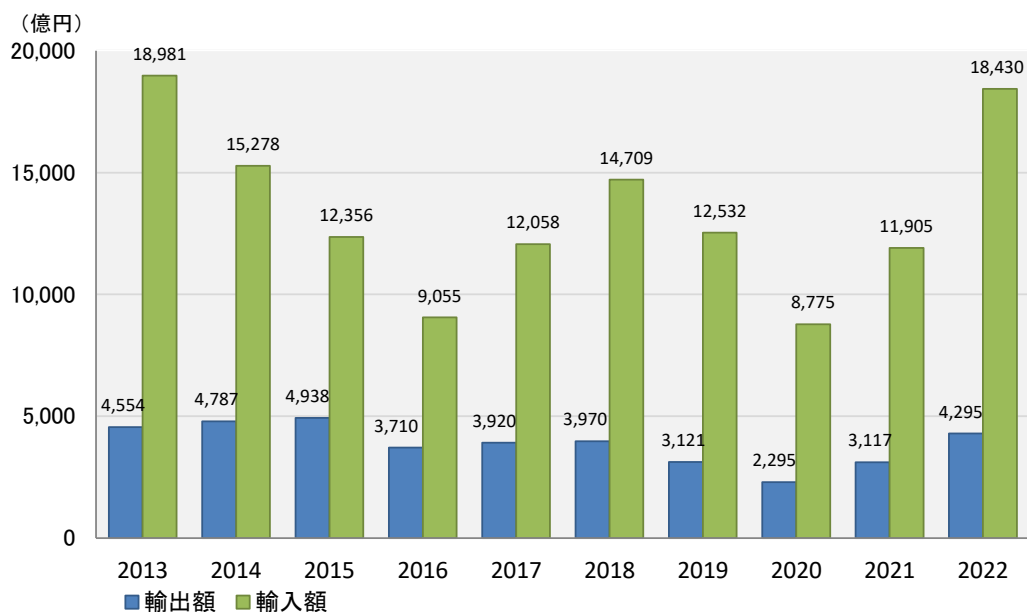
I. 北海道と全国の貿易の現状	
1. 北海道の貿易の現状	1
2. 全国の貿易の現状	1
3. 全国の地域別貿易額	2
4. 北海道の通関官署別貿易額	2
II. 貿易品目別の輸出入状況	
1. 品目別輸出額(北海道、全国)	3
2. 品目別輸入額(北海道、全国)	3
III. 北海道の主な品目別貿易相手国・地域	
1. 輸送用機器の貿易相手国・地域	4
2. 原料別製品の貿易相手国・地域	5
IV. 主な貿易相手地理圏、国・地域	
1. 北海道の主な貿易相手地理圏	6
2. 全国の主な貿易相手地理圏	6
3. 北海道の主な貿易相手国・地域	7
4. 全国の主な貿易相手国・地域	8
V. 北海道の主要貿易相手国・地域との貿易概況	
1. 中国との貿易概況	9
2. 米国との貿易概況	11
3. 韓国との貿易概況	13
4. タイとの貿易概況	15
5. ベトナムとの貿易概況	17
6. ロシアとの貿易概況	19
7. 台湾との貿易概況	21
VI. 2022年の北海道における食料品輸出概況	
1. 北海道の輸出額全体に占める食料品の割合	23
2. 主な品目別の食料品輸出額	23
3. 食料品の主な輸出相手国・地域	32

I. 北海道と全国の貿易の現状

1. 北海道の貿易の現状

2022年の北海道の貿易額は、輸出が前年比37.8%増の4,295億円、輸入が前年比54.8%増の1兆8,430億円となった。
貿易赤字額は前年比60.8%増の1兆4,135億円となった。

図表1 北海道の貿易額年別推移

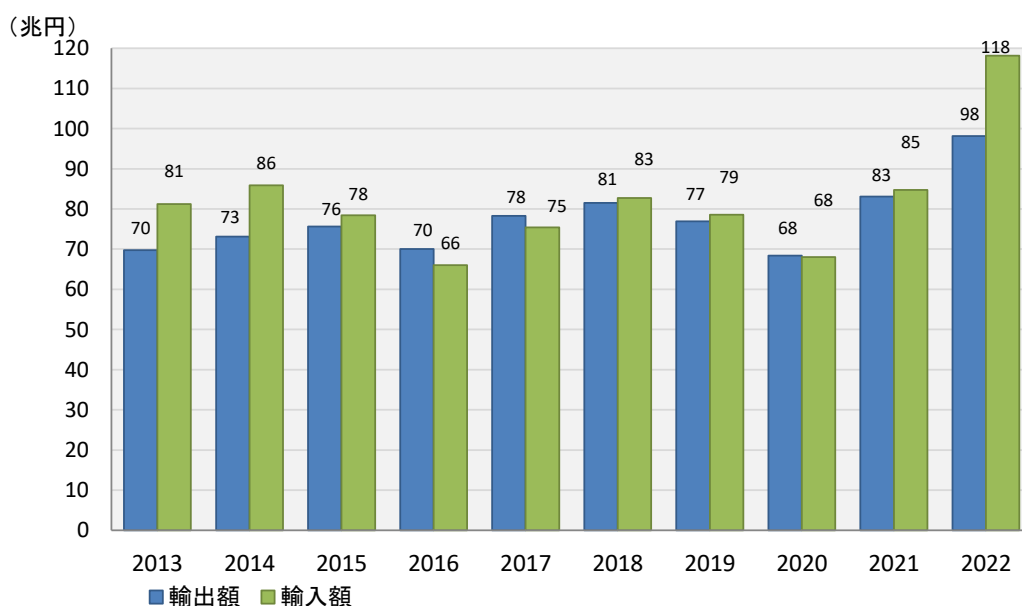


出所:財務省「貿易統計」

2. 全国の貿易の現状

2022年の全国の貿易額は、輸出が前年比18.2%増の98兆1,749億円、輸入が前年比39.4%増の118兆1,409億円となった。
貿易収支は、約19兆9,660億円の赤字となった。

図表2 全国の貿易額の推移

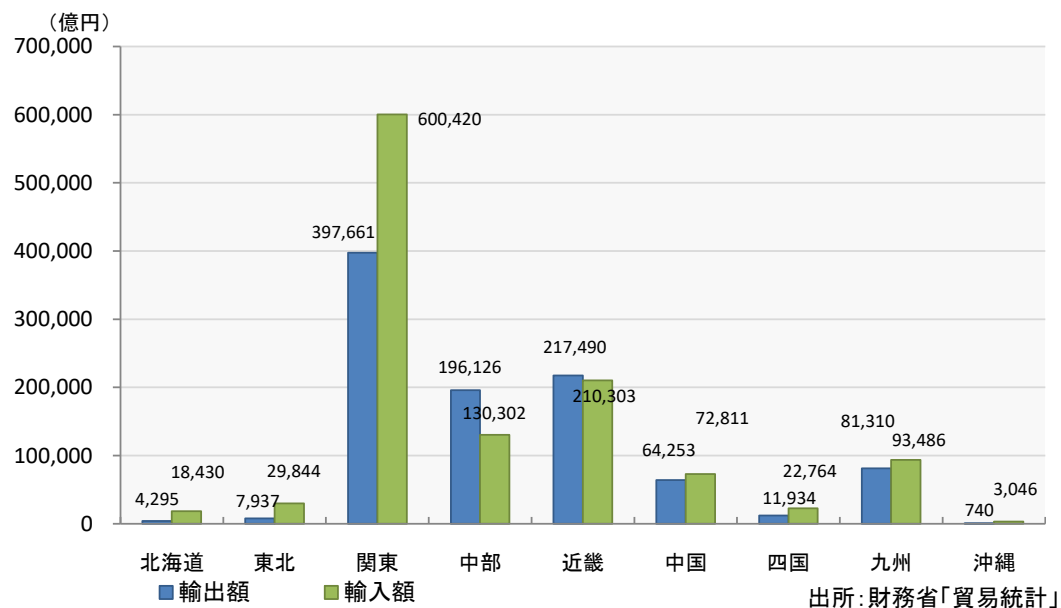


出所:財務省「貿易統計」

3. 全国の地域別貿易額

2022年の各地域別貿易額では、関東は輸出額で全国の40.5%、輸入額で50.8%を占めた。また、北海道は輸出額で全国の0.4%、輸入額で1.6%を占めた。輸出が輸入を上回っている地域は、中部、近畿であった。

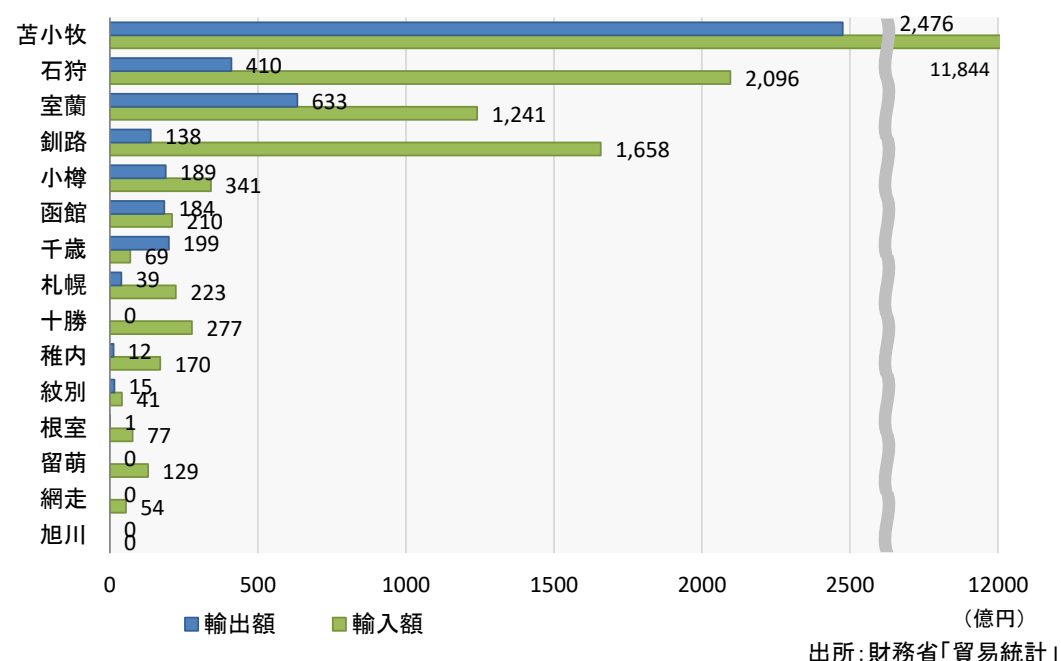
図表3 全国の地域別(各経済産業省管轄地域別)の貿易額



4. 北海道の通関官署別貿易額

2022年の北海道の通関官署別貿易額は苫小牧が最も多く、次いで石狩、室蘭の順となり、苫小牧と石狩の両官署で輸出額の67.2%、輸入額の75.6%を占めた。千歳は輸出が輸入を上回ったが、後はすべての地域において輸入が輸出を上回った。

図表4 北海道の通関官署別の貿易額

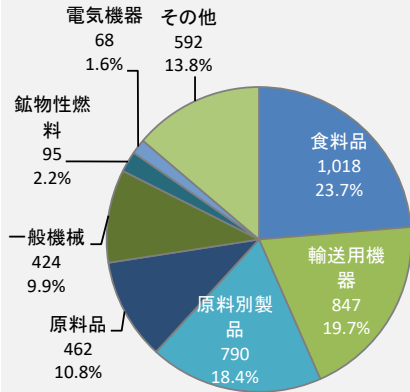


Ⅱ. 貿易品目別の輸出入状況

1. 品目別輸出額(北海道、全国)

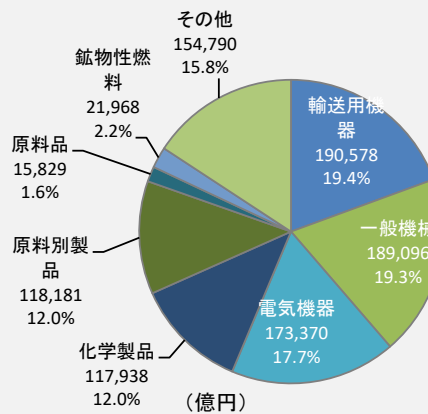
2022年の北海道の品目別輸出額を見ると、食料品、輸送用機器、原料別製品、原料品などが主な輸出品目となっている。
北海道は全国と比べ、食料品の割合が高く、電気機器の割合は低い。

図表5 北海道の品目別輸出額



<輸出総額:4,295億円>

図表6 全国の品目別輸出額



<輸出総額:98兆1,749億円>

<参考>

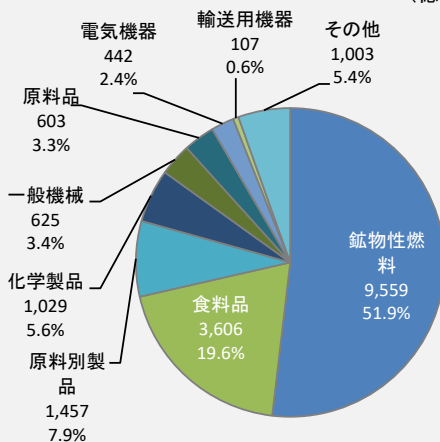
- 原料品
原皮、生ゴム、木材、パルプ、古紙、金属鉱、鉄鋼のくず、油脂など
- 原料別製品
革製品、ゴム製品、木製品、紙製品、織物、鉄鋼、金属製品など

出所:財務省「貿易統計」

2. 品目別輸入額(北海道、全国)

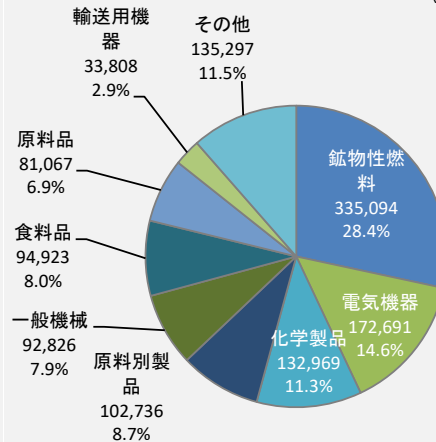
2022年の北海道の品目別輸入額を見ると、鉱物性燃料、食料品が主な輸入品目となっており、これらを合計した構成比は71.4%となる。
また、全国との比較では、鉱物性燃料の占める割合が約1.8倍となっている。

図表7 北海道の品目別輸入額 (億円)



<輸入総額:1兆8,430億円>

図表8 全国の品目別輸入額 (億円)



<輸入総額:118兆1,409億円>

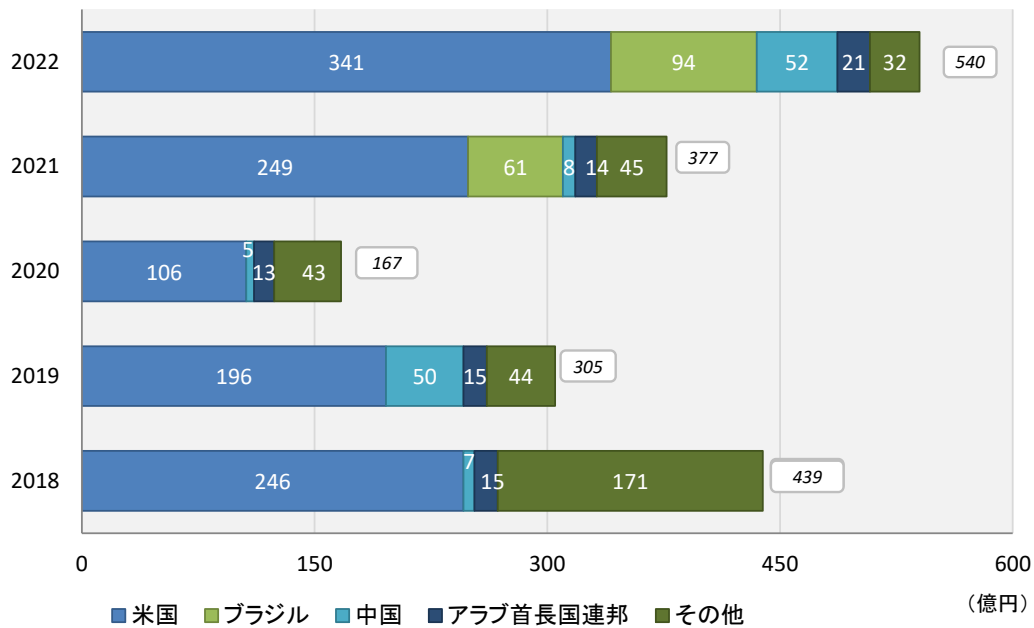
出所:財務省「貿易統計」

Ⅲ. 北海道の主な品目別貿易相手国・地域

1. 輸送用機器の貿易相手国・地域

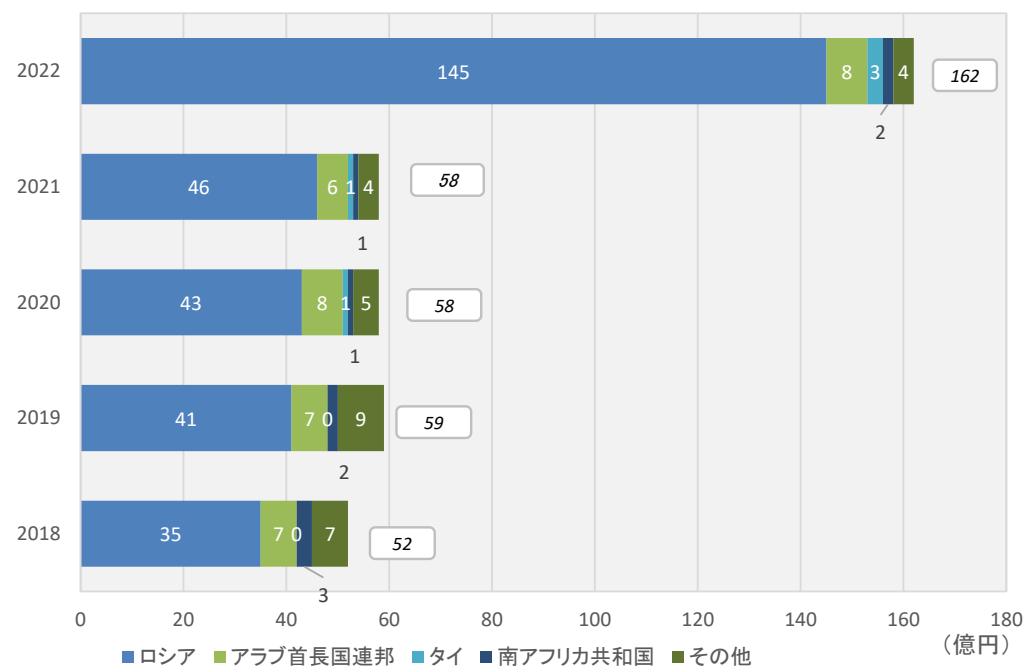
輸送用機器では、「自動車の部分品」が米国、ブラジルなど、「自動車」が主にロシアへ輸出されている。前年比は「自動車の部分品」43.2%増、「自動車」は179.3%増となった。

図表9 北海道における自動車部分品の輸出相手国・地域と輸出額の推移



出所：財務省「貿易統計」

図表10 北海道における自動車の輸出相手国・地域と輸出額の推移

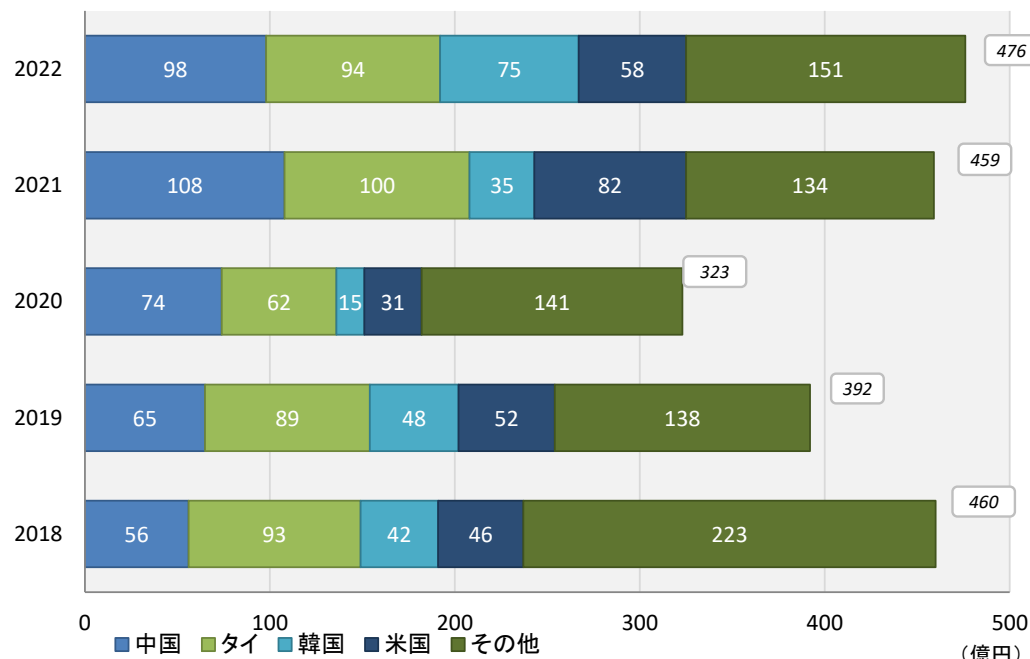


出所：財務省「貿易統計」

2. 原料別製品の貿易相手国・地域

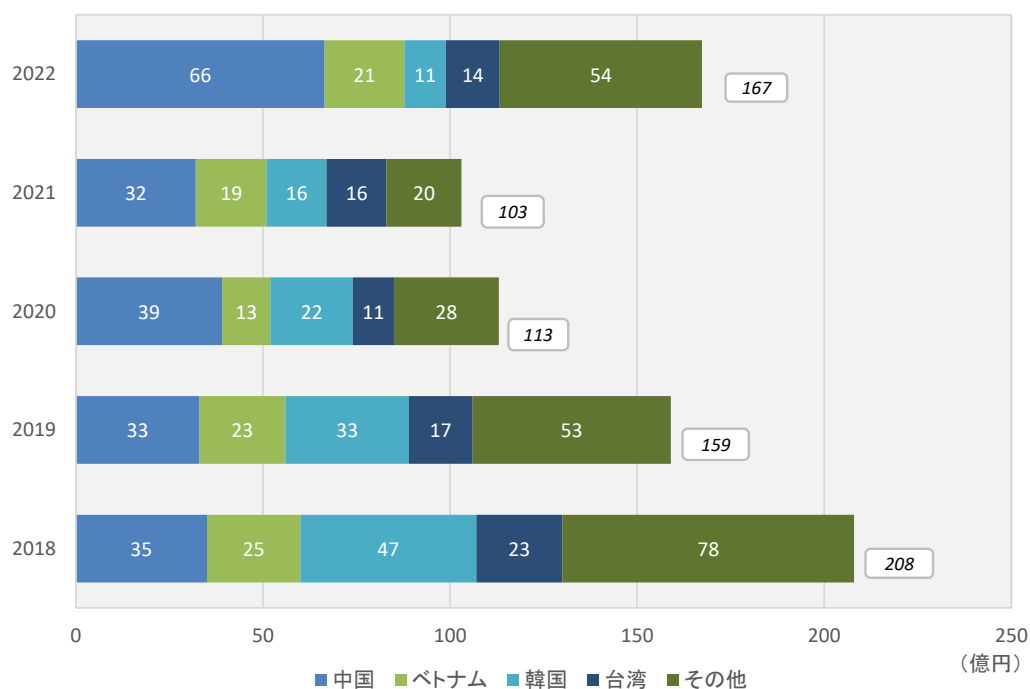
原料別製品では、「鉄鋼」と「紙類及び同製品」の合計が全体の81.4%を占める。「鉄鋼」は中国、タイ、韓国など、「紙類及び同製品」は中国、ベトナム、台湾などへ輸出されている。前年比は、「鉄鋼」は3.7%増、「紙類及び同製品」は62.4%増となった。

図表11 北海道における鉄鋼の輸出相手国・地域と輸出額の推移



出所：財務省「貿易統計」

図表12 北海道における紙類および同製品の輸出相手国・地域と輸出額の推移



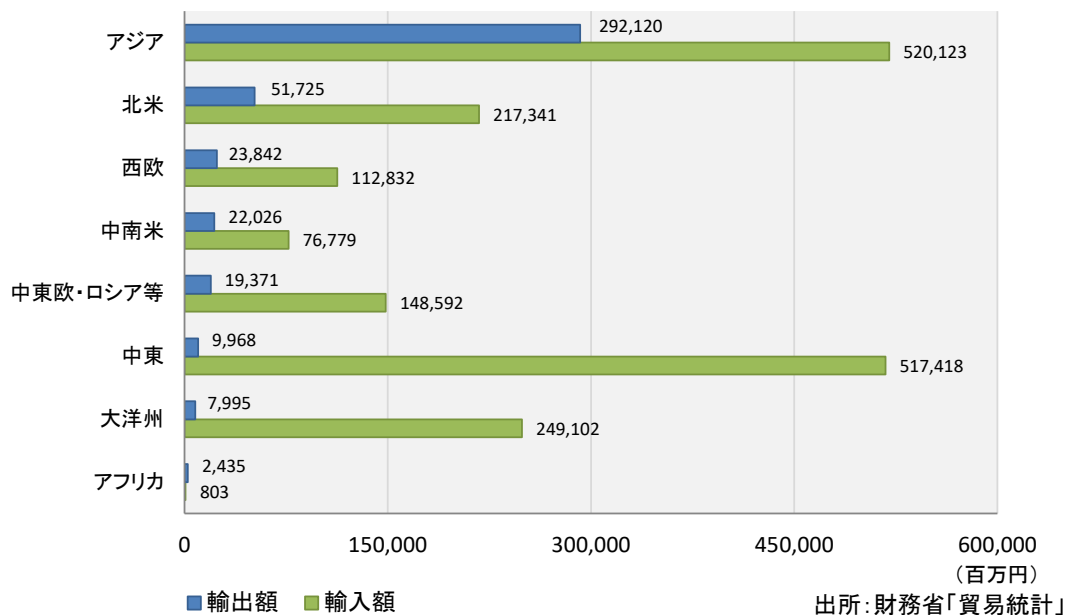
出所：財務省「貿易統計」

IV. 主な貿易相手地理圏、国・地域

1. 北海道の主な貿易相手地理圏

2022年の北海道の貿易相手地理圏は、輸出ではアジア向けが68.0%と大半を占めている。輸入でもアジア向けが28.2%で最も多く、次いで中東が28.1%、大洋州が13.5%となった。

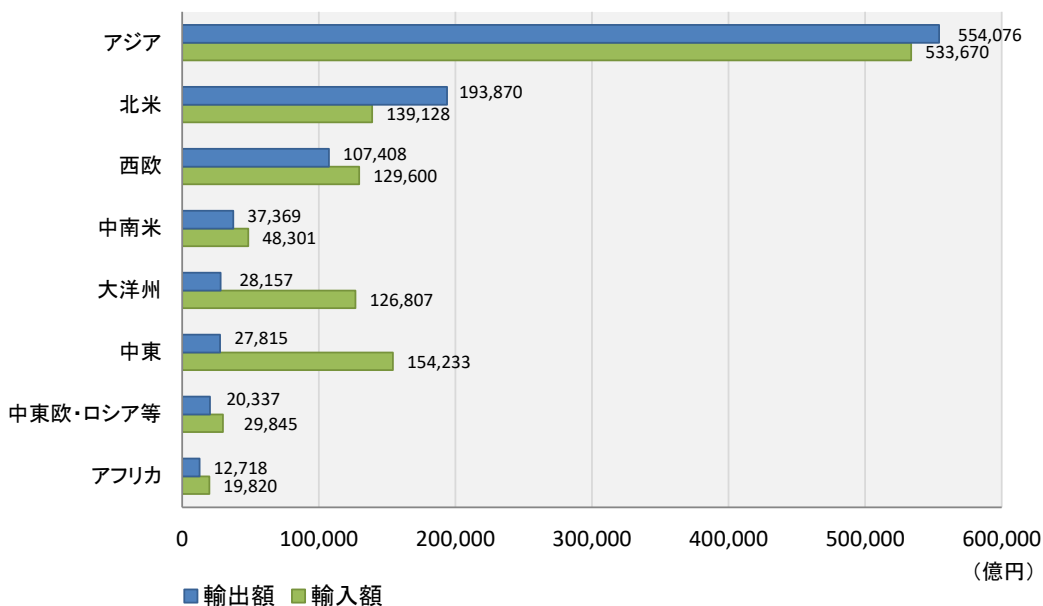
図表13 北海道の貿易相手地理圏



2. 全国の主な貿易相手地理圏

2022年の全国の貿易相手地理圏は、輸出入ともにアジアが中心となっており、輸出では56.4%、輸入では45.2%を占めている。

図表14 全国の貿易相手地理圏

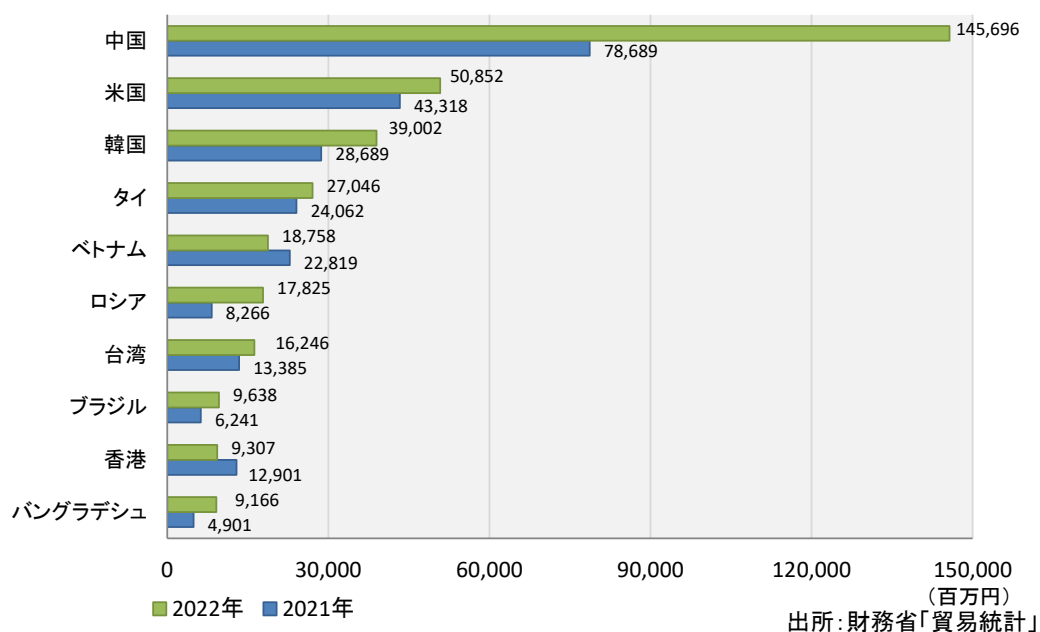


3. 北海道の主な貿易相手国・地域

①輸出

2022年の北海道の主な輸出相手先は中国が最も多く、次いで、米国、韓国の順となっている。前年比は香港(27.9%減)が減少し、ロシア(115.6%増)、バングラデシュ(87.0%増)、中国(85.2%増)、ブラジル(54.4%増)、韓国(35.9%増)、台湾(21.4%増)、タイ(12.4%増)などで増加した。

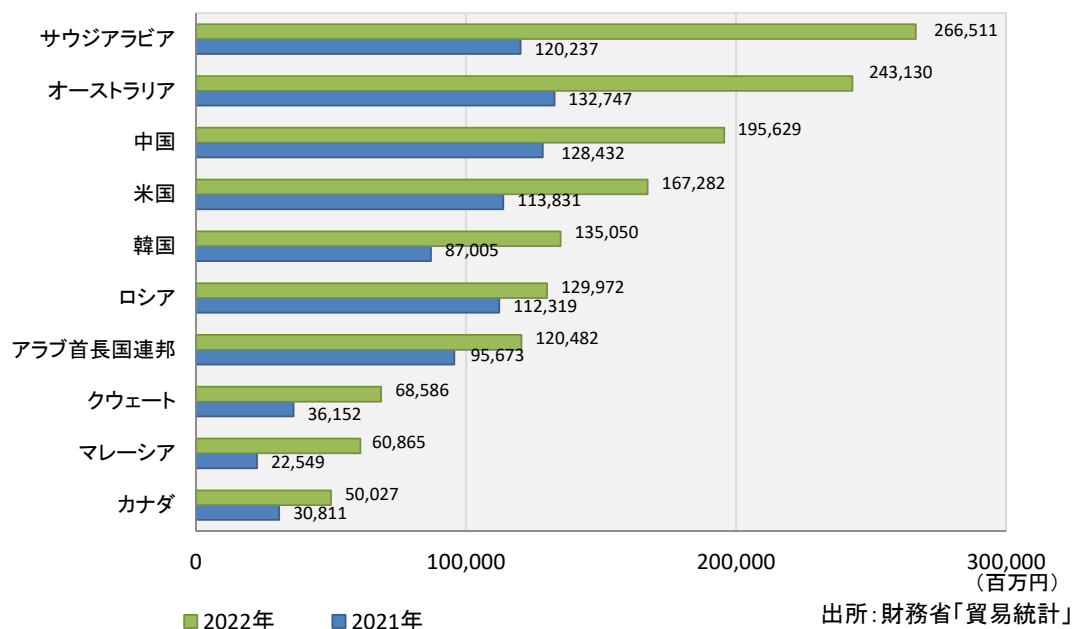
図表15 北海道の主な輸出相手国・地域



②輸入

2022年の北海道の主な輸入相手先はサウジアラビアが最も多く、次いでオーストラリア、中国の順となっている。前年比はマレーシア(169.9%増)、サウジアラビア(121.7%増)、クウェート(89.7%)などが増加した。

図表16 北海道の主な輸入相手国・地域

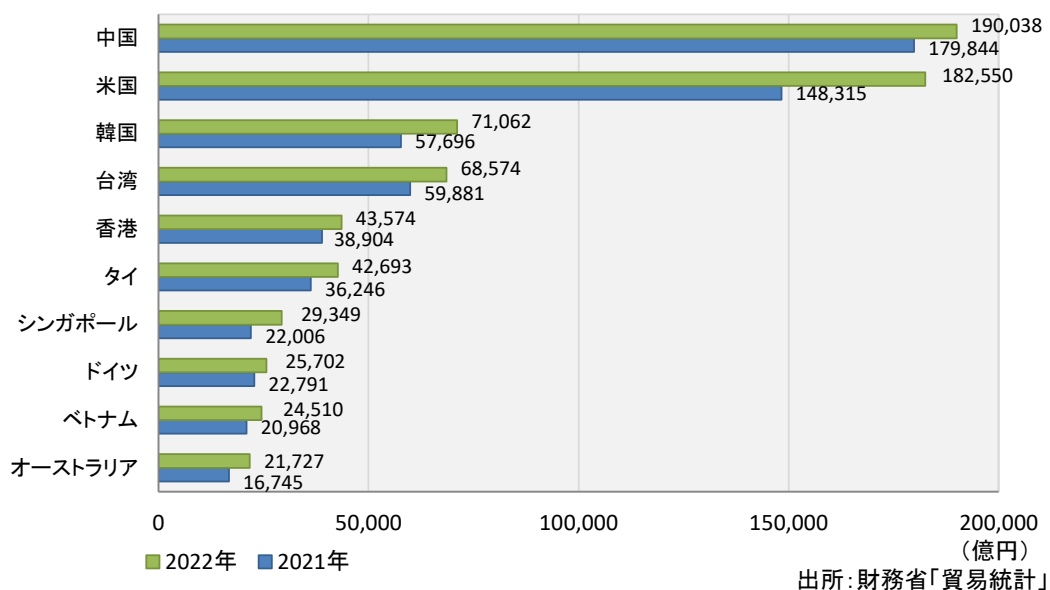


4. 全国の主な貿易相手国・地域

①輸出

2022年、全国の輸出相手先をみると中国が最も多く、次いで米国、韓国の順となっている。前年比は、シンガポール(33.4%増)、オーストラリア(29.8%増)、韓国(23.2%増)など、全ての主な輸出相手国・地域において増加した。

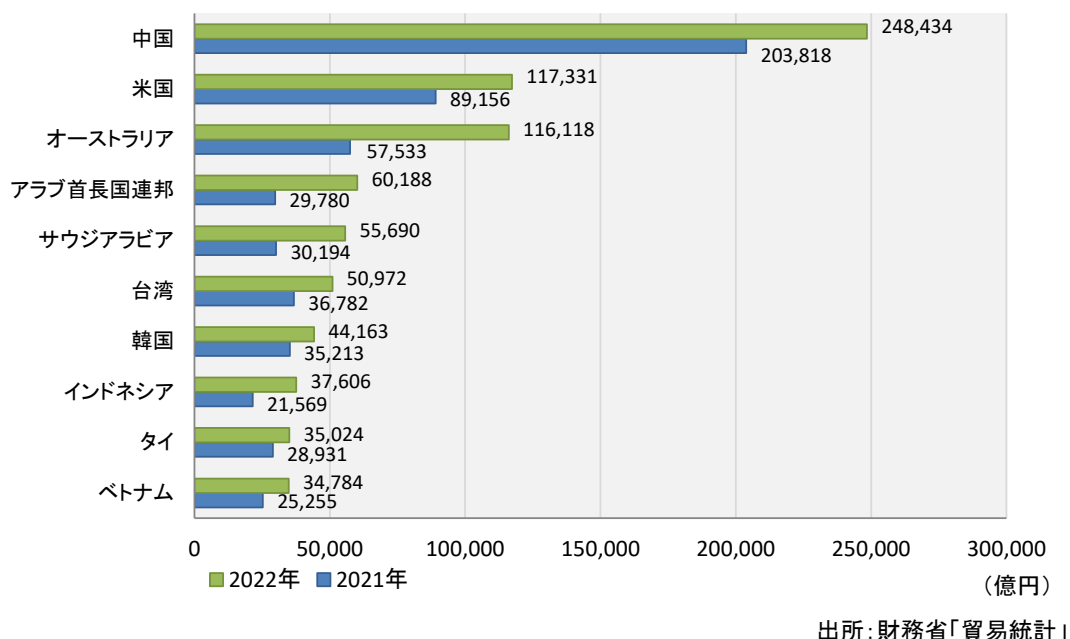
図表17 全国の主な輸出相手国・地域



②輸入

2022年、全国の輸入相手先をみると中国が最も多く、次いで米国、オーストラリアの順となっている。前年比は、アラブ首長国連邦(102.1%増)、オーストラリア(101.8%増)、サウジアラビア(84.4%増)など、全ての主な輸入相手国・地域において増加した。

図表18 全国の主な輸入相手国・地域



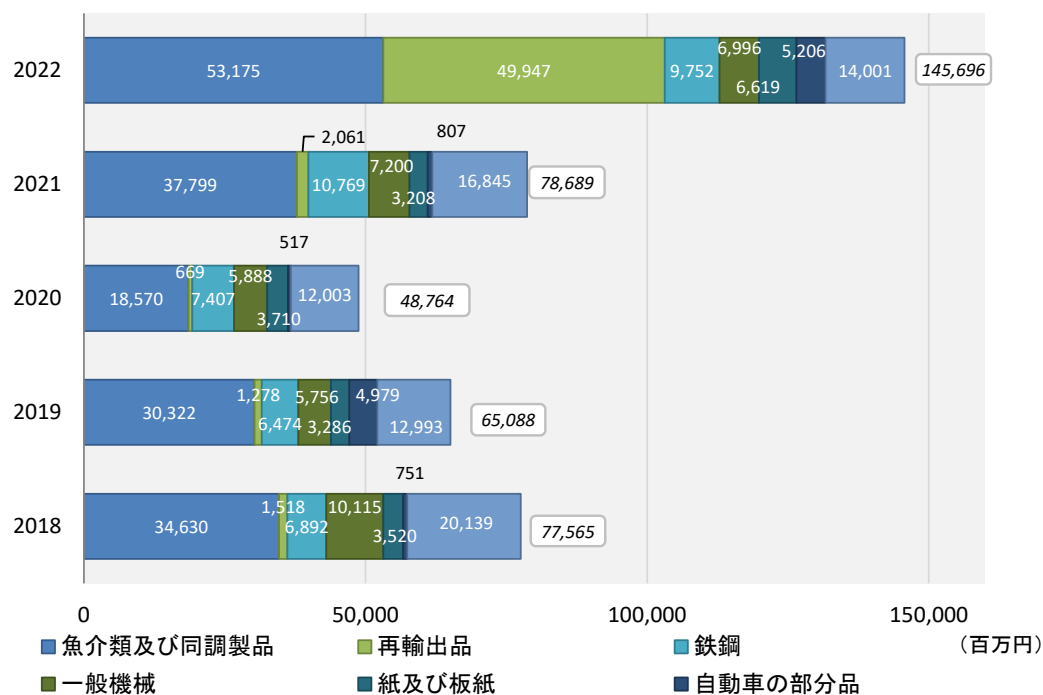
V. 北海道の主要貿易相手国・地域との貿易概況

1. 中国との貿易概況

①輸出

2022年の中国への輸出額は1,457億円で、前年から約670億円増加した。
主な輸出品は、魚介類及び同調製品、再輸出品、鉄鋼、一般機械、紙及び板紙となっている。

図表19 北海道における中国への輸出額の推移



出所：財務省「貿易統計」

図表20 北海道における中国への輸出額上位10細目品(2022年 統計品目番号による)

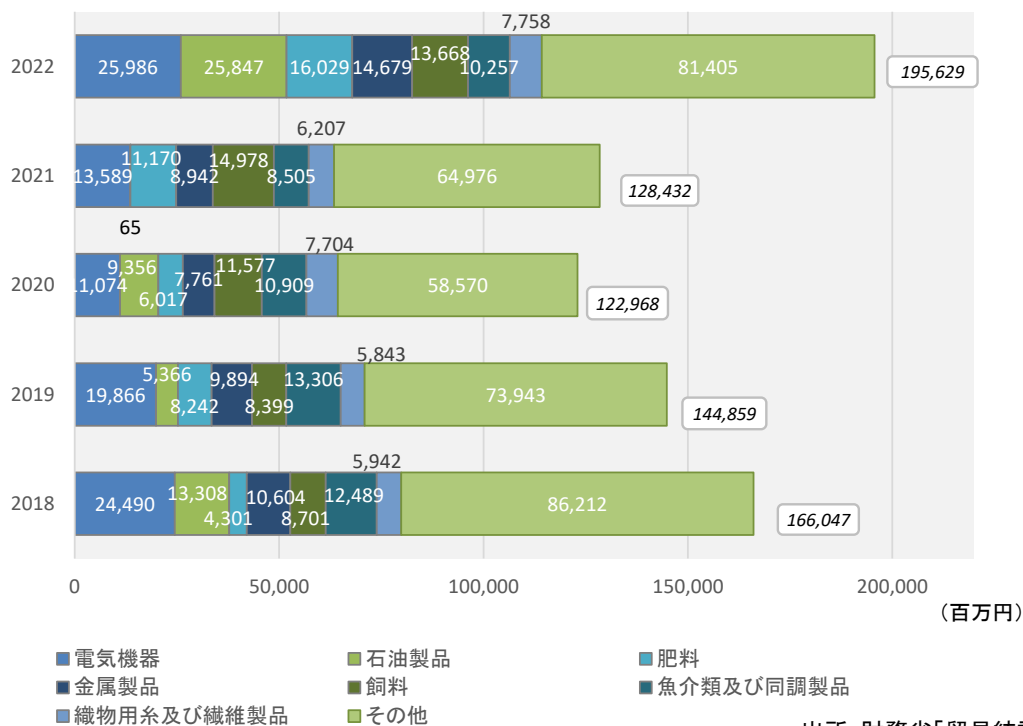
順位	品名	金額 (百万円)
1	再輸出品(マネタリーゴールド及び金貨、500トン以上の船舶を除く)	49,947
2	スキャロップ及びその他のいたやがい科の軟体動物のうち、冷凍したもの(完全に殻を除いたものは除く)	35,276
3	スキャロップ及びその他のいたやがい科の軟体動物のうち、冷凍したもの(完全に殻を除いたもの)	7,638
4	自動車のギヤボックス及びその部分品	4,078
5	なまこ(乾燥したもの以外)	3,352
6	合金鋼のインゴット、その他の一次形状のもの及び半製品(その他のもの)	3,256
7	その他の紙及び板紙のうち、テストライナーの重量が1平方メートルにつき150グラム以下のもの	2,844
8	印刷回路	2,474
9	蒸気タービンの部分品	2,023
10	コック、弁その他これらに類する物品(減圧弁及び温度制御式弁を含むものとし、管、かん胴、タンクその他これらに類する物品用のものに限る。)のうち、鉄鋼製・銅製を除いた部品	1,977

出所：財務省「貿易統計」

②輸入

2022年の中国からの輸入額は約1,956億円で、前年から約672億円増加した。
主な輸入品は、電気機器、石油製品、肥料、金属製品、飼料などとなっている。

図表21 北海道における中国からの輸入額の推移



出所：財務省「貿易統計」

図表22 北海道における中国からの輸入額上位10細目品(2022年 統計品目番号による)

順位	品名	金額 (百万円)
1	その他の灯油(低重合度の混合アルキレン、ノルマルパラフィン、政令で定める石油化学製品の製造に使用するもの、ジェットエンジンの燃料用を除く)	25,801
2	電動機及び発電機及びロータリーコンバーターの機械に専ら又は主として使用する部分品	8,714
3	でん粉製造の際に生ずるかす、その他これに類するかす	7,848
4	風力式発電機(ピストン式火花点火内燃機関とセットにしたものに限る。)	7,777
5	オルトリン酸二水素アンモニウム及びこれとオルトリン酸水素二アンモニウムとの混合物(肥料成分としてタブレット状又は容器とあわせて10kg以下に包装したもの)	5,108
6	いか(調製品)	4,944
7	精米(研磨してあるかないか又はつや出してあるかないかを問わない)	4,797
8	構造物及びその部分品(鉄鋼製のものに限る。例えば、橋、橋げた、水門、塔、格子柱、屋根、屋根組み、戸、窓、戸枠、窓枠、戸敷居、シャッター、手すり及び柱。第94.06項のプレハブ建築物を除く。)並びに構造物用に加工した鉄鋼製の板、棒、型材、管その他これらに類する物品のうち、塔及び格子柱	4,704
9	大豆油かす(粉碎又はペレット状であるかないかを問わない)	4,311
10	オルトリン酸水素二アンモニウム・リン酸二アンモニウム(肥料成分としてタブレット状又は容器とあわせて10kg以下に包装したもの)	4,015

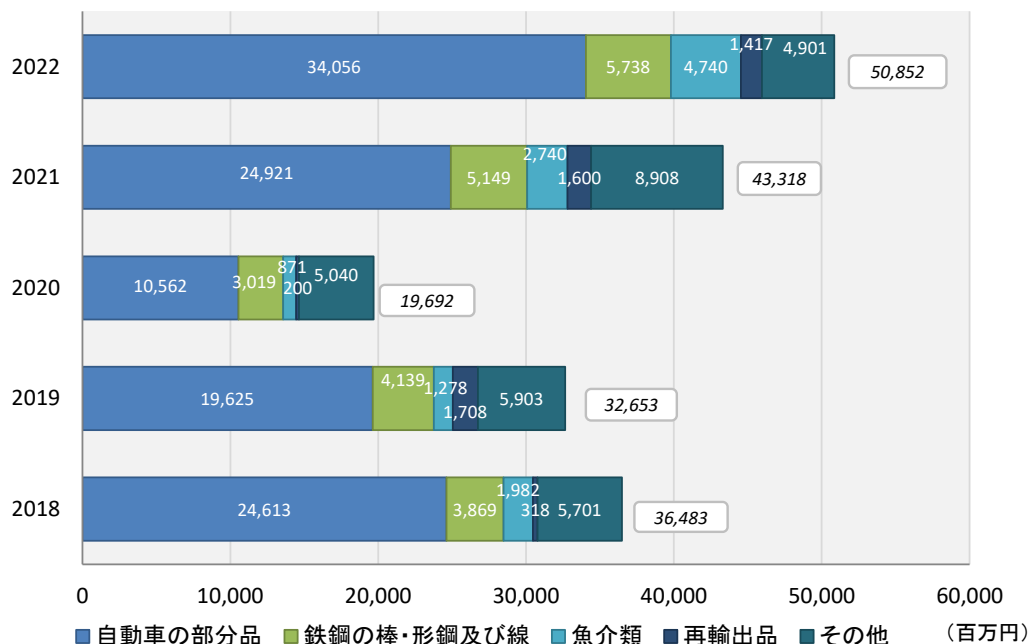
出所：財務省「貿易統計」

2. 米国との貿易概況

①輸出

2022年の米国への輸出額は約509億円で、前年から約75億円増加した。
主な輸出品は、自動車の部分品、鉄鋼の棒・形鋼及び線、魚介類、再輸出品などとなっている。

図表23 北海道における米国への輸出額の推移



出所：財務省「貿易統計」

図表24 北海道における米国への輸出額上位10細目品(2022年 統計品目番号による)

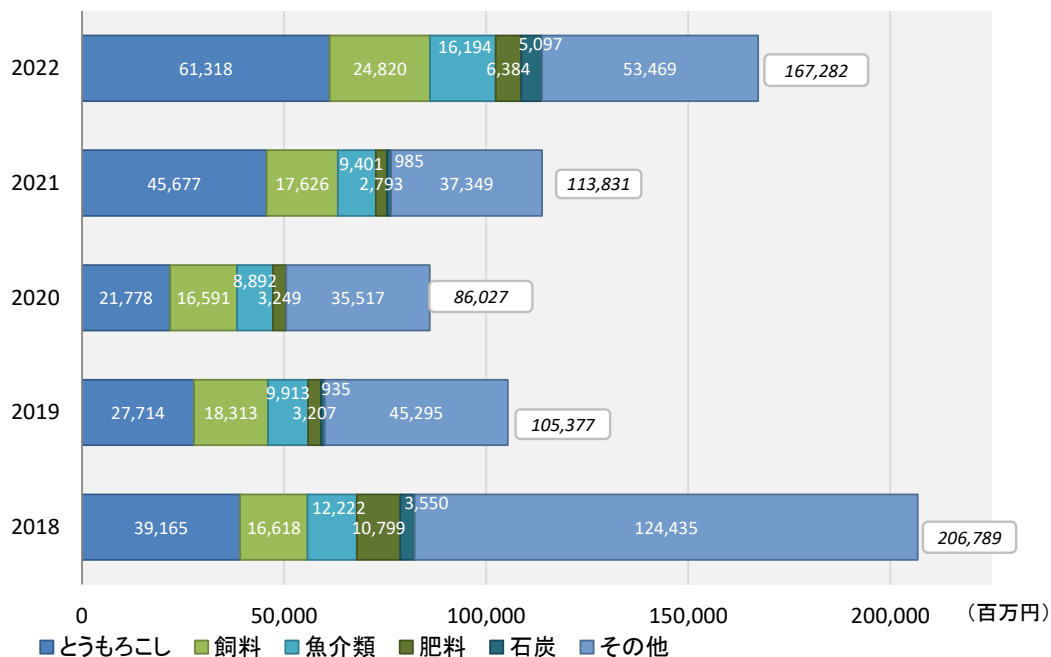
順位	品名	金額 (百万円)
1	自動車のギヤボックス及びその部分品	33,624
2	スキャロップ及びその他のいたやがい科の軟体動物のうち、冷凍したもの(完全に殻を除いたもの)	4,406
3	ばね鋼の棒(熱間圧延をしたもので不規則に巻いたもの)	2,421
4	再輸出品(マネタリーゴールド及び金貨、500トン以上の船舶を除く)	1,417
5	高速度鋼の棒及びシリコマンガン鋼の棒を除いた、その他の棒(熱間圧延、熱間引抜き又は押し出しをしたものに限るものとし、更に加工したものを除く。)のうち、横断面が円形のばね鋼性	1,274
6	不規則に巻いたその他の合金鋼の棒(熱間圧延をしたもの)のうち、合金工具鋼、構造用合金鋼、快削鋼、ばね鋼を除いたもの	1,139
7	歯車	615
8	粒状スラグ(スラグサンド。鉄鋼製造の際に生ずるものに限る。)	492
9	自動車のクラッチ及びその部分品	433
10	不織布(重量が1平方メートルにつき150グラムを超えるナイロンその他のポリアミド製のもの)	424

出所：財務省「貿易統計」

②輸入

2022年の米国からの輸入額は約1,673億円で、前年から約535億円増加した。主な輸入品は、とうもろこし、飼料、魚介類、肥料、石炭となっている。

図表25 北海道における米国からの輸入額の推移



出所：財務省「貿易統計」

図表26 北海道における米国からの輸入額上位10細目品(2022年 統計品目番号による)

順位	品名	金額 (百万円)
1	飼料用のとうもろこし(税関の監督の下で飼料の原料として使用するもの)	59,682
2	精米(研磨してあるかないか又はつや出してあるかないかを問わない)	12,342
3	大豆油かす(粉碎又はペレット状であるかないかを問わない)	7,576
4	ルタバガ、飼料用のビートその他の飼料用の根菜類、飼料用の乾草、クローバー、セインホイン、飼料用のケール、ルーピン、ベッチその他これらに類する飼料用植物(キューブ状のものを除く)	7,316
5	醸造又は蒸留の際に生ずるかす	6,549
6	歴青炭(強粘結性のコークス用炭を除いたもの)	5,097
7	その他の小麦及びメスリン(メスリンを除いた、飼料用以外のもの)	4,528
8	オルトリン酸二水素アンモニウム及びこれとオルトリン酸水素二アンモニウムとの混合物(肥料成分としてタブレット状又は容器とあわせて10kg以下に包装したもの)	4,213
9	石油コークス(焼いていないもの)	3,969
10	にしん(クルペア・ハレングス及びクルペア・パラスイイ)	3,442

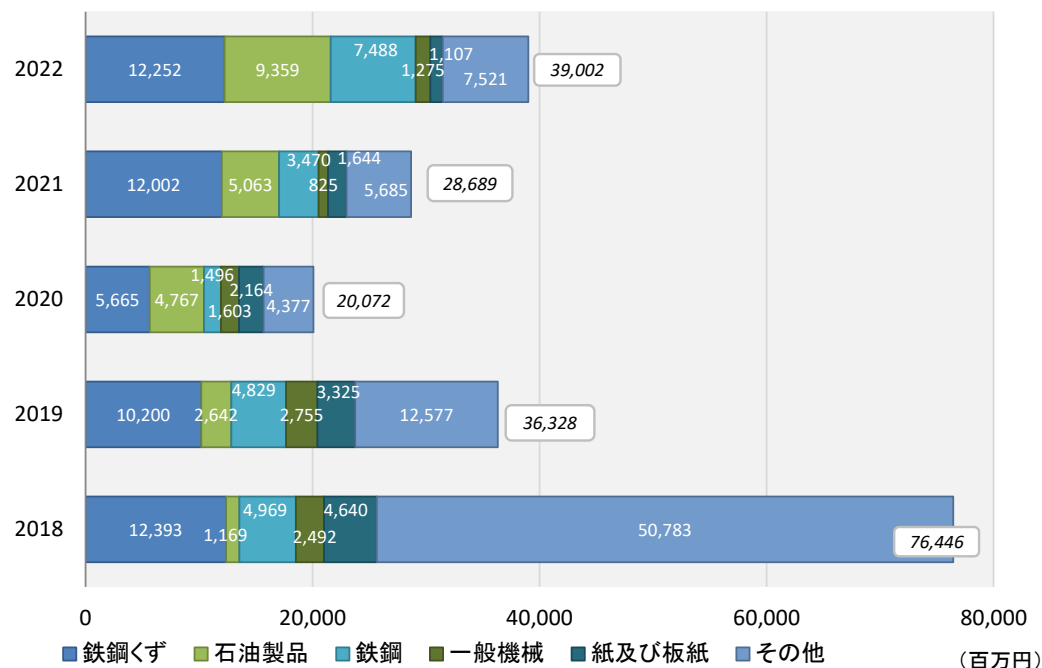
出所：財務省「貿易統計」

3. 韓国との貿易概況

①輸出

2022年の韓国への輸出額は約390億円で、前年から約103億円増加した。
主な輸出品は、鉄鋼くず、石油製品、鉄鋼、一般機械、紙及び板紙となっている。

図表27 北海道における韓国への輸出額の推移



出所：財務省「貿易統計」

図表28 北海道における韓国への輸出額上位10細目品(2022年 統計品目番号による)

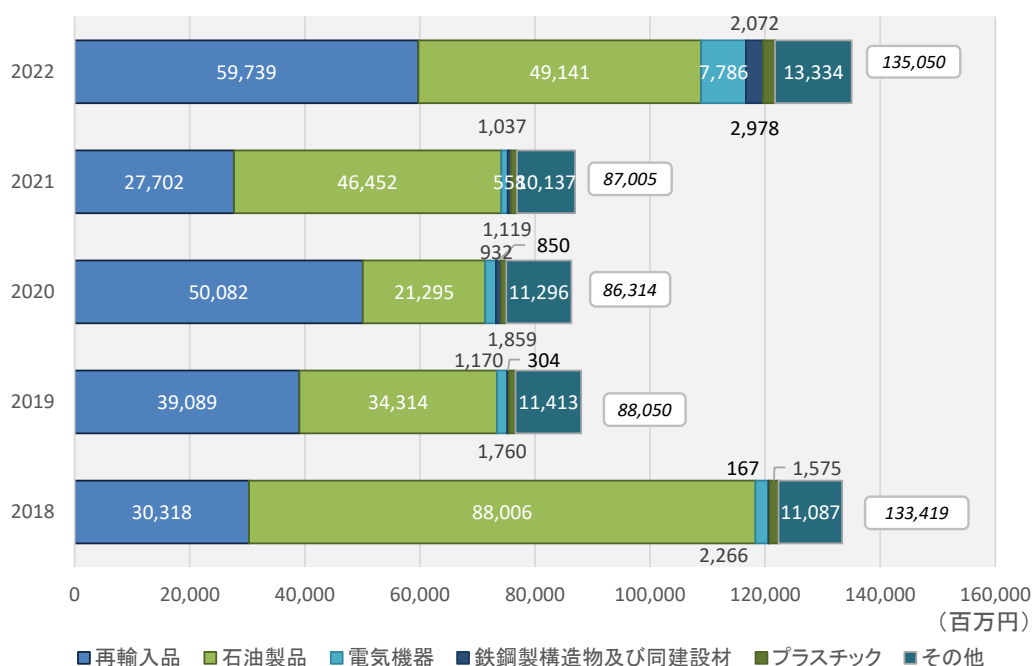
順位	品名	金額 (百万円)
1	鉄鋼のヘビーくず	8,097
2	軽質油及びその調製品のうち、ピストン式内燃機関の燃料用を除いた揮発油	6,112
3	鉄鋼のシュレッダーくず	3,619
4	重油	3,247
5	アルミ缶のアルミニウムのくず	1,799
6	熱間圧延、熱間引抜き又は押出しをしたもので更に加工したものを除く構造用合金鋼の棒	1,356
7	その他の鉄又は非合金鋼のフラットロール製品(クラッドしたもの)	1,353
8	構造用合金鋼の棒(熱間圧延をしたもので不規則に巻いたもの)	897
9	鉄又は非合金鋼の半製品で炭素の含有量が全重量の0.25%未満、横断面が長方形(正方形を含む。)のもので、幅が厚さの2倍未満のビレット	805
10	合金鋼のインゴット、その他の一次形状のもの及び半製品(その他のもの)	692

出所：財務省「貿易統計」

②輸入

2022年の韓国からの輸入額は約1,351億円で、前年から約480億円増加した。主な輸入品は、再輸入品、石油製品、電気機器、鉄鋼製構造物及び同建設材、プラスチックとなっている。

図表29 北海道における韓国からの輸入額の推移



出所:財務省「貿易統計」

図表30 北海道における韓国からの輸入額上位10細目品(2022年 統計品目番号による)

順位	品名	金額 (百万円)
1	再輸入品(マナタリーゴールド及び金貨を除く)のうち、総トン数が500トン以上の船舶以外のもの	59,739
2	その他の灯油(低重合度の混合アルキレン、ノルマルパラフィン、政令で定める石油化学製品の製造に使用するもの、ジェットエンジンの燃料用を除く)	39,716
3	リチウム・イオン蓄電池	6,540
4	その他の石油又は歴青油の残留物(潤滑油を溶剤により精製する際に生ずる副生抽出物を除く)	3,990
5	軽質油及びその調製品(自転車用)	3,079
6	構造物及びその部分品(橋及び橋げた、塔及び格子柱、戸及び窓並びにこれらの枠並びに戸敷居、足場用、枠組み用又は支柱用の物品を除く)	2,559
7	軽油(軽質油及びその調製品を除く、石油及び歴青油の調製品)のうち、政令で定める石油化学製品の製造に使用するものを除いたもの	1,547
8	自動車のクラッチ及びその部分品	1,066
9	木製・鋼製のモジュール式建築ユニットを除いたプレハブ建築物	925
10	窒素・りん・カリウムの3種もしくは、りん・カリウム及び窒素・りんの2種を含有した鉬物性肥料及び化学肥料、オルトリン酸水素二アンモニウム、オルトリン酸二水素アンモニウム(りん酸一アンモニウム)及びこれとオルトリン酸水素二アンモニウム(りん酸二アンモニウム)との混合物を除いた肥料成分	769

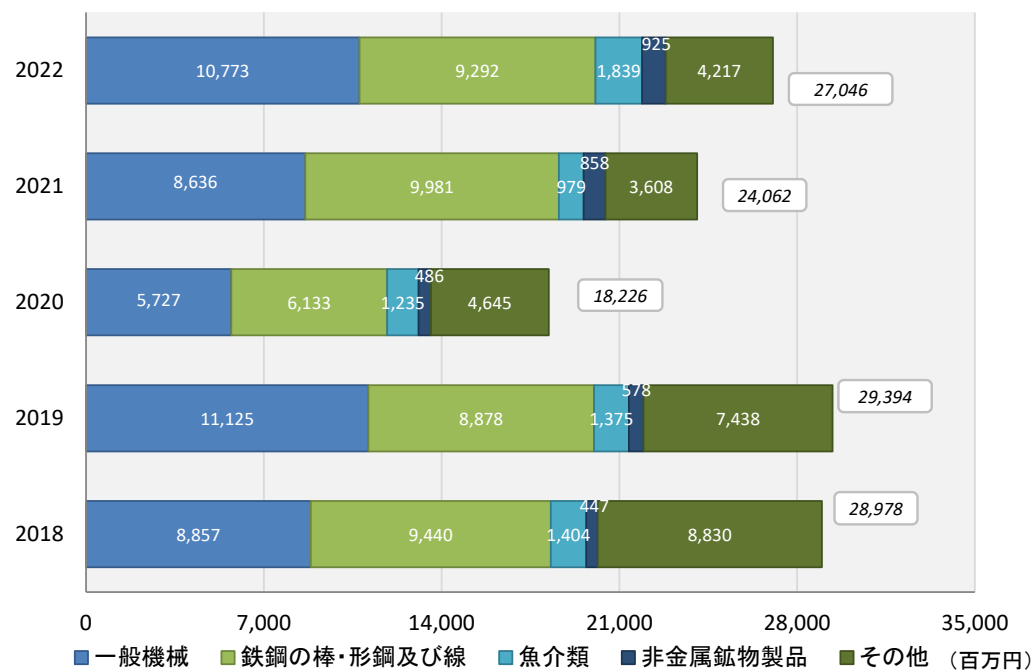
出所:財務省「貿易統計」

4. タイとの貿易概況

①輸出

2022年のタイへの輸出額は約270億円で、前年から約30億円増加した。
 主な輸出品は一般機械、鉄鋼の棒・形鋼及び線、魚介類、非金属鉱物製品となっている。

図表31 北海道におけるタイへの輸出額の推移



出所：財務省「貿易統計」

図表32 北海道におけるタイへの輸出額上位10細目品(2022年 統計品目番号による)

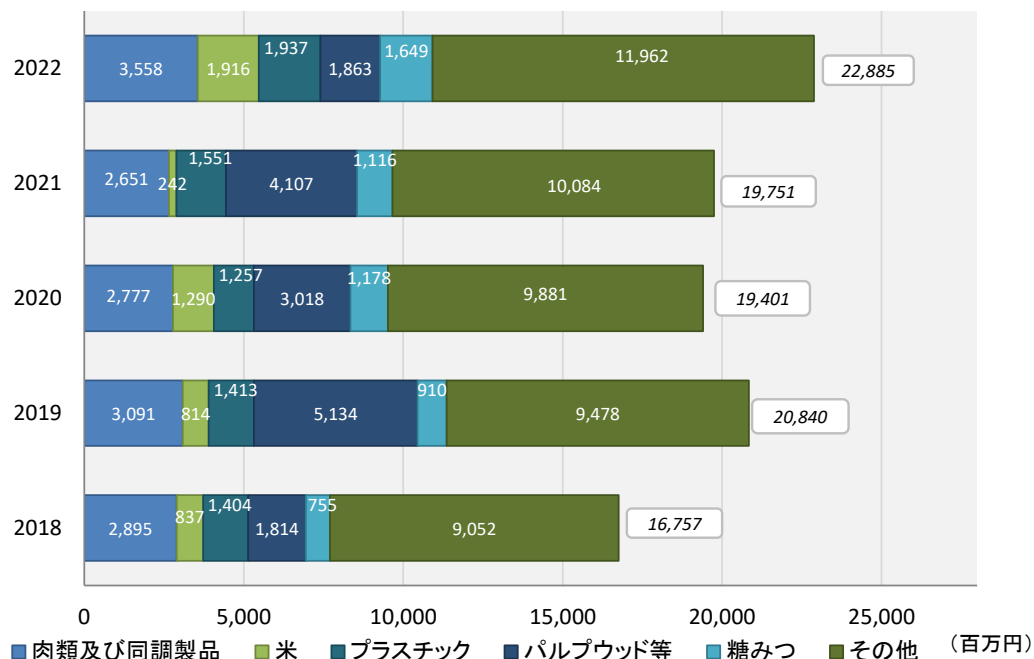
順位	品名	金額 (百万円)
1	航空機用エンジンのうち、第87類の車両用エンジンの部分品(ピストン式火花点火内燃機関に専ら又は主として使用するものを除く)	7,928
2	わら用又は牧草用のペーラー(ピックアップペーラーを含む)	1,766
3	不規則に巻いたその他の合金鋼の棒(熱間圧延をしたもの)のうち、合金工具鋼、構造用合金鋼、快削鋼、ばね鋼を除いたもの	1,685
4	熱間圧延、熱間引抜き又は押しをしたもので更に加工したものを除く快削鋼の棒	1,520
5	冷凍したさけ科の魚のうち、べにざけ以外の太平洋さけ	1,360
6	鍛造したものの以外の鉄又は非合金鋼のその他の非合金快削鋼の棒のうち、炭素の含有量が全重量の0.25%以上0.6%未満の機械構造用炭素鋼のもの	1,298
7	熱間圧延、熱間引抜き又は押しをしたもので更に加工したものを除く構造用合金鋼の棒	1,072
8	磁器製を除く、その他の陶磁製品	916
9	構造用合金鋼の棒(熱間圧延をしたもので不規則に巻いたもの)	906
10	ばね鋼の棒(熱間圧延をしたもので不規則に巻いたもの)	791

出所：財務省「貿易統計」

②輸入

2022年のタイからの輸入額は約229億円で、前年から約31億増加した。
主な輸入品は、肉類及び同調製品、米、プラスチック、パルプウッド等、糖みつなどとなっている。

図表33 北海道におけるタイからの輸入額の推移



出所: 財務省「貿易統計」

図表34 北海道におけるタイからの輸入額上位10細目品(2022年 統計品目番号による)

順位	品名	金額 (百万円)
1	ソーセージ以外の調製をし又は保存に適する処理をした鶏(ガールス・ドメスティクス。腸、ぼうこう、胃を除く)のうち、牛、豚の肉を含有しないもの	2,805
2	精米(研磨してあるかないか又はつや出してあるかないかを問わない)	1,916
3	針葉樹以外のチップ状又は小片状の木材	1,863
4	飼料用の甘しや糖みつ	1,161
5	エステル化でん粉その他のでん粉誘導体	964
6	窒素肥料のうち、硫酸アンモニウム	880
7	合金を除いたアルミニウムのうち、横断面の最大寸法が7ミリメートルを超えるもの	807
8	比重が0.94以上のポリエチレン(バイオポリエチレンを除く)	768
9	冷凍した肉及び食用のくず肉のうち、ももやむねなど分別できないもの	663
10	冷凍冷蔵庫	647

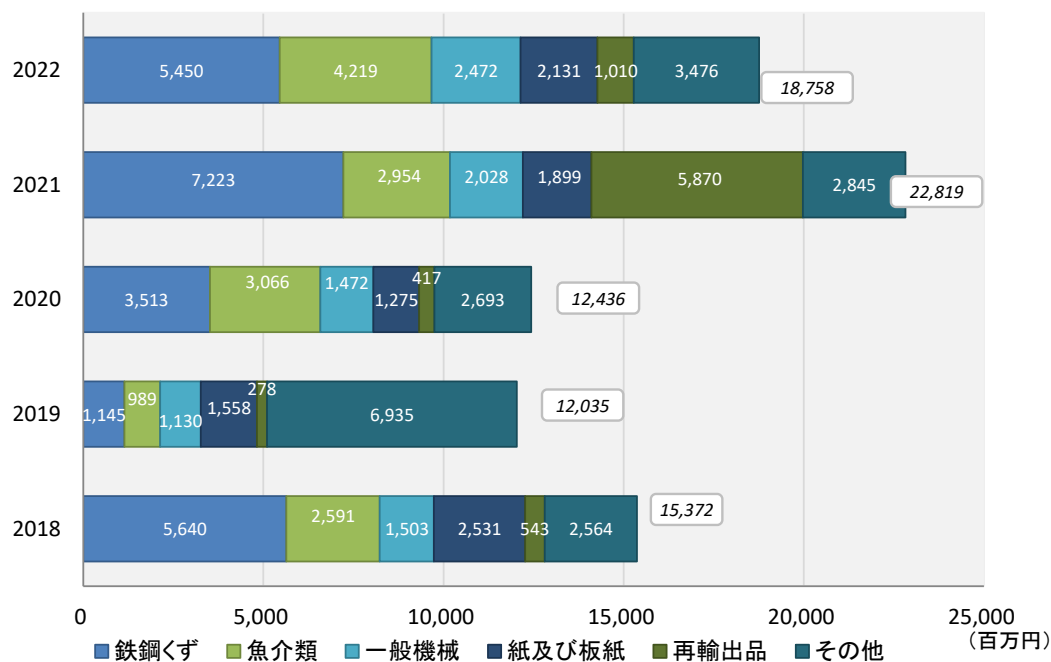
出所: 財務省「貿易統計」

5. ベトナムとの貿易概況

①輸出

2022年のベトナムへの輸出額は約188億円で、前年から約41億円減少した。主な輸出品は、鉄鋼くず、魚介類、一般機械、紙及び板紙、再輸出品となっている。

図表35 北海道におけるベトナムへの輸出額の推移



出所: 財務省「貿易統計」

図表36 北海道におけるベトナムへの輸出額上位10細目品(2022年 統計品目番号による)

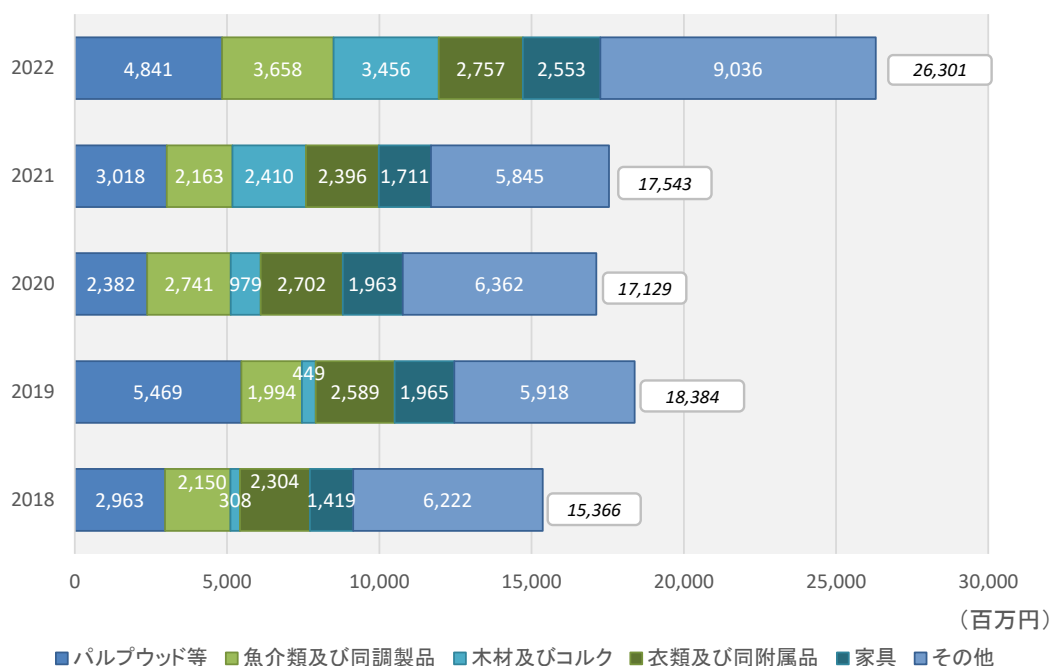
順位	品名	金額 (百万円)
1	鉄鋼のへびくず	5,175
2	冷凍したさけ科の魚のうち、べにざけ以外の太平洋さけ	2,729
3	再輸出品(マネタリーゴールド及び金貨、500トン以上の船舶を除く)	1,010
4	重量が1平方メートルにつき150グラムを超えるテストライナー(再生ライナーボード)	1,001
5	上部構造が360度回転するメカニカルショベル、エキスカベーター及びショベルローダーのうち、中古の6トン以上の油圧式のもの	829
6	乳幼児用の麦芽エキス並びに穀粉、ひき割り穀物、ミール、でん粉又は麦芽エキスの調製食料品(小売用にしたものに限る)	583
7	トラクターのうち、エンジン出力が37キロワットを超え75キロワット以下のもの、農業用のもの、中古のもの	448
8	その他のクラフト紙及びクラフト板紙(重量が1平方メートルにつき150グラムを超え225グラム未満のものに限る。)	387
9	筆記用、印刷用その他のグラフィック用に供する種類の紙及び板紙(機械パルプとケミグラウンドパルプを合わせたものの含有量が全繊維重量の10%以下のものに限る。)のうち、ロール状のもの	387
10	中古ブルドーザー及びアングルドーザーのうち、無限軌道式のもの	318

出所: 財務省「貿易統計」

②輸入

2022年のベトナムからの輸入額は約263億円で、前年から約88億円増加した。
主な輸入品は、パルプウッド等、魚介類及び同調製品、木材及びコルクなどとなっている。

図表37 北海道におけるベトナムからの輸入額の推移



出所: 財務省「貿易統計」

図表38 北海道におけるベトナムからの輸入額上位10細目品(2022年 統計品目番号による)

順位	品名	金額 (百万円)
1	針葉樹以外のチップ状又は小片状の木材	4,841
2	木質ベレット	1,848
3	気密容器入りのもの以外のさけ(調製し又は保存に適する処理をしたものに限る)	1,392
4	木質ベレット及び木質ブリケット以外ののこず及び木くず	1,254
5	フレキシブルコンテナ	1,121
6	針、カテーテル、カニューレその他これらに類する物品のうち、金属製の管針及び縫合用の針以外のもの(歯科用、外科用のを除く)	1,021
7	にしんの肝臓、卵及びしらこ(乾燥し、くん製し、塩蔵し又は塩水漬けしたのものに限る。)	984
8	合成繊維製の漁網(ひも又は綱から製造した結び網地及び結び網を除く)	867
9	セルラーラバー製又は多泡性プラスチック製以外のマットレス	620
10	構造物及びその部分品(橋及び橋げた、塔及び格子柱、戸及び窓並びにこれらの枠並びに戸敷居、足場用、枠組み用又は支柱用の物品を除く)	505

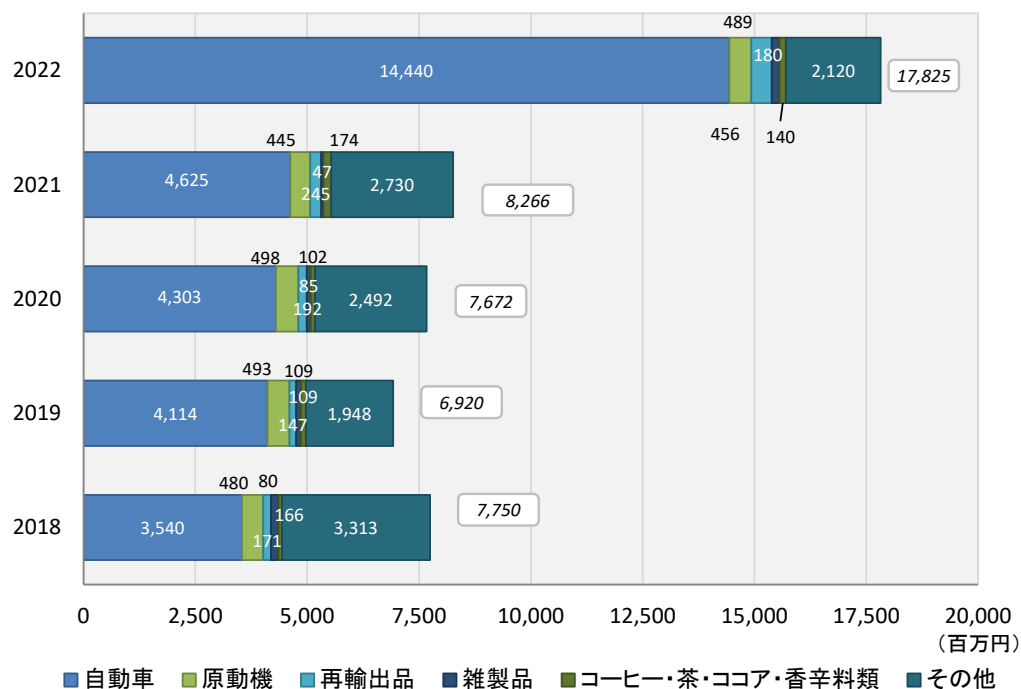
出所: 財務省「貿易統計」

6. ロシアとの貿易概況

①輸出

2022年のロシアへの輸出額は約178億円で、前年から約96億円増加した。
主な輸出品は自動車、原動機、再輸出品、雑製品、コーヒー・茶・ココア・香辛料類となっている。

図表39 北海道におけるロシアへの輸出額の推移



出所：財務省「貿易統計」

図表40 北海道におけるロシアへの輸出額上位10細目品(2022年 統計品目番号による)

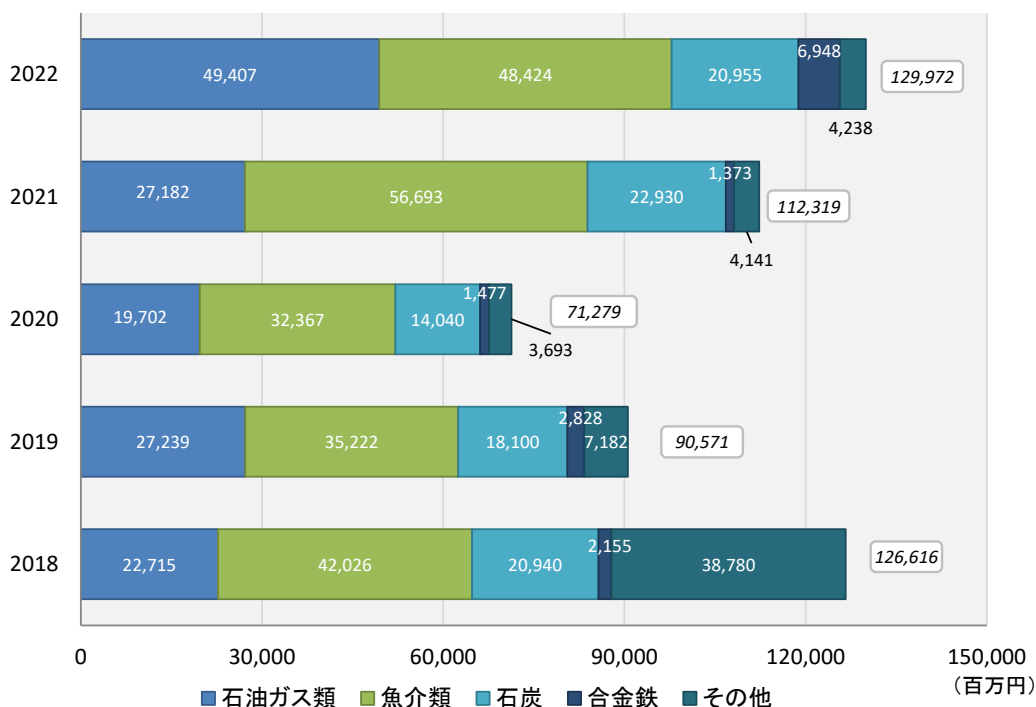
順位	品名	金額 (百万円)
1	中古の乗用自動車(シリンダー容積が1,000立方センチメートルを超え1,500立方センチメートル以下のもの)	3,322
2	中古の乗用自動車(シリンダー容積が1,500立方センチメートルを超え2,000立方センチメートル以下のもの)	3,275
3	中古の乗用自動車(駆動原動機としてピストン式火花点火内燃機関及び電動機を搭載したもの)	3,054
4	中古の乗用自動車(シリンダー容積が2,000立方センチメートルを超えるもの)	2,582
5	中古の乗用自動車(シリンダー容積が2,500立方センチメートルを超えるもの)	589
6	中古の乗用自動車(シリンダー容積が3,000立方センチメートルを超えるもの)	479
7	再輸出品(マネタリーゴールド及び金貨、500トン以上の船舶を除く)	456
8	魚の調製用機械	388
9	ピストン式火花点火内燃機関(往復動機関及びロータリーエンジンに限る)のうち、シリンダー容積が1,000立方センチメートルを超えるもの	386
10	中古の乗用自動車(シリンダー容積が1,500立方センチメートルを超え2,500立方センチメートル以下のもの)	296

出所：財務省「貿易統計」

②輸 入

2022年のロシアからの輸入額は約1,300億円で、前年から約177億円増加した。
主な輸入品は、石油ガス類、魚介類、石炭、合金鉄となっている。

図表41 北海道におけるロシアからの輸入額の推移



出所：財務省「貿易統計」

図表42 北海道におけるロシアからの輸入額上位10細目品(2022年 統計品目番号による)

順位	品名	金額 (百万円)
1	液化した天然ガス	49,407
2	歴青炭(灰分の含有量が乾燥状態において全重量の8%以下のもの、コークス用を除く)	11,894
3	生きたうに(パラケントロトウス・リヴィドウス、ロクセキヌス・アルプス、エキヌス・エスクレントウス及びストロンギョロケントロトウス属のもの)	11,039
4	魚の肝臓、魚の卵及びしらこ(にしんの卵、たらこの卵を除く)	10,920
5	炭素の含有量が全重量の4%未満のフェロクロム	6,889
6	冷凍のたらばがに	4,203
7	冷凍のコールドウォーターシュリンプ及びコールドウォータープローン(クランゴン・クランゴン及びパンダルス属のもの)	4,119
8	冷凍のずわいがに	3,917
9	歴青炭(強粘結性のコークス用炭を除いたコークス用炭)	3,714
10	歴青炭(灰分の含有量が乾燥状態において全重量の8%を超えるもの、コークス用を除く)	2,950

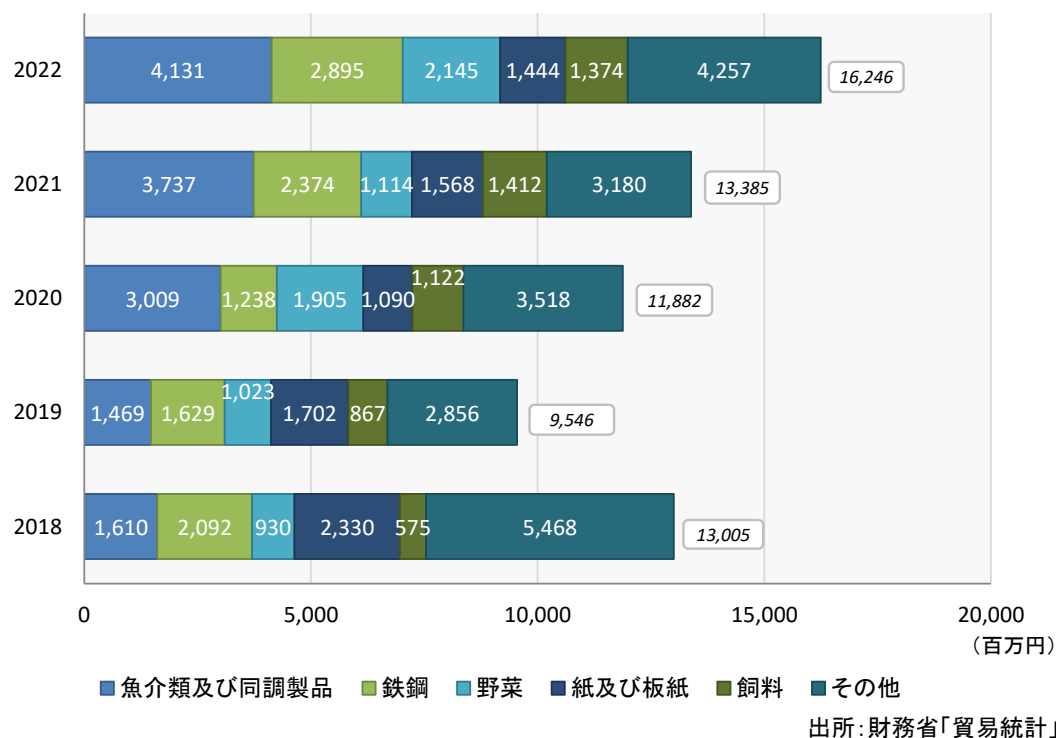
出所：財務省「貿易統計」

7. 台湾との貿易概況

①輸出

2022年の台湾への輸出額は約162億円で、前年から約29億円増加した。
主な輸出品は、魚介類及び同調製品、鉄鋼、野菜、紙及び板紙、飼料となっている。

図表43 北海道における台湾への輸出額の推移



図表44 北海道における台湾への輸出額上位10細目品(2022年 統計品目番号による)

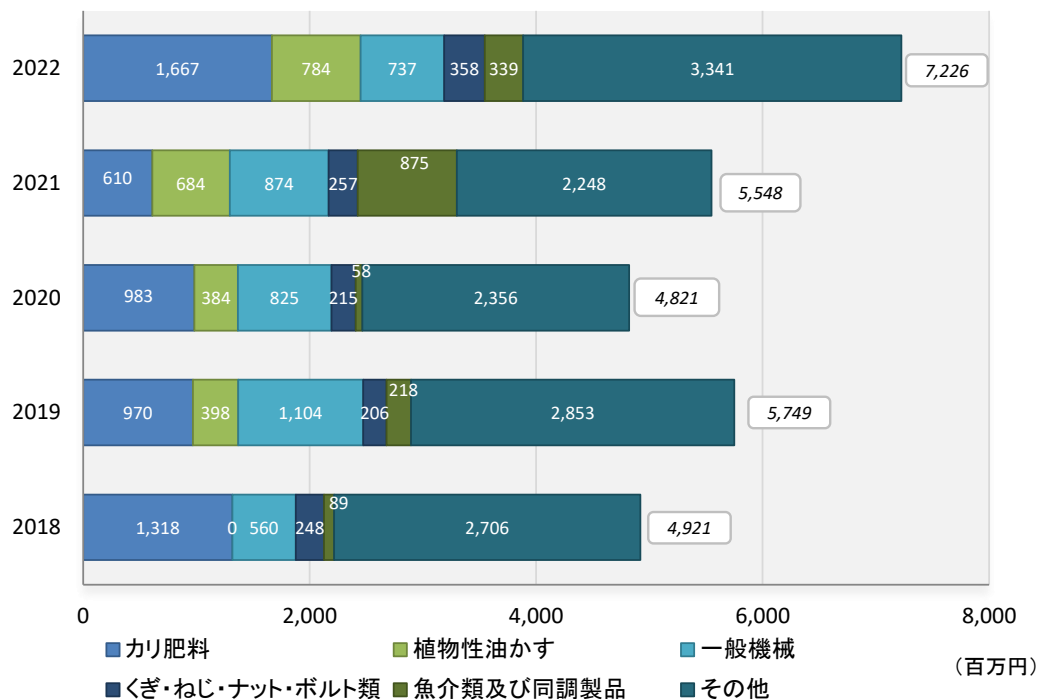
順位	品名	金額 (百万円)
1	スキヤロップ及びその他のいたやがい科の軟体動物のうち、冷凍したもの、完全に殻を除いたもの	1,665
2	なまこ(乾燥したもの以外)	1,358
3	鉄又は非合金鋼の半製品で、炭素の含有量が全重量の0.25%以上のビレット	1,319
4	たまねぎ及びシャロット	1,126
5	魚の粉、ミール及びペレット	1,012
6	ヤム芋(ディオスコレア属のもの)	791
7	その他の鉄又は非合金鋼のフラットロール製品(クラッドしたもの)	686
8	鉄鋼のシュレッダーくず	669
9	上部構造が360度回転するメカニカルショベル、エキスカベーター及びショベルローダーのうち、中古の6トン以上の油圧式のもの	586
10	キャビア代用物	404

出所: 財務省「貿易統計」

②輸入

2022年の台湾からの輸入額は約72億円で、前年から約17億円増加した。
 主な輸入品は、カリ肥料、植物性油かす、一般機械、くぎ・ねじ・ナット・ボルト類、魚介類及び同調整品となっている。

図表45 北海道における台湾からの輸入額の推移



出所：財務省「貿易統計」

図表46 北海道における台湾からの輸入額上位10細目品(2022年 統計品目番号による)

順位	品名	金額 (百万円)
1	硫酸カリウム(乾燥状態において酸化カリウムとして計算したカリウム分が全重量の52%を超えるものを除く)	1,368
2	大豆油かす(粉碎又はペレット状であるかないかを問わない)	784
3	アルミニウム合金(塊)	307
4	硫酸カリウム(乾燥状態において酸化カリウムとして計算したカリウム分が全重量の52%を超えるもの)	300
5	電動機により作動するプーリータックル及びホイスト(スキップホイスト及び車両持ち上げに使用する種類のホイストを除く)	263
6	豆のふすま、ぬかその他のかす(穀物又は豆のふるい分け、製粉その他の処理の際に生ずるものに限る)	256
7	その他の溶接管(ステンレス鋼製のもので、横断面が円形のものに限る)	236
8	その他の木ねじ	182
9	冷凍したするめいか(トダロデス・パキフィクス)	152
10	その他の製紙用パルプ、紙又は板紙の加工機械(切断機、袋又は封筒の製造機械、箱やケースなど容器の製造機械、成型用機械を除く)	122

出所：財務省「貿易統計」

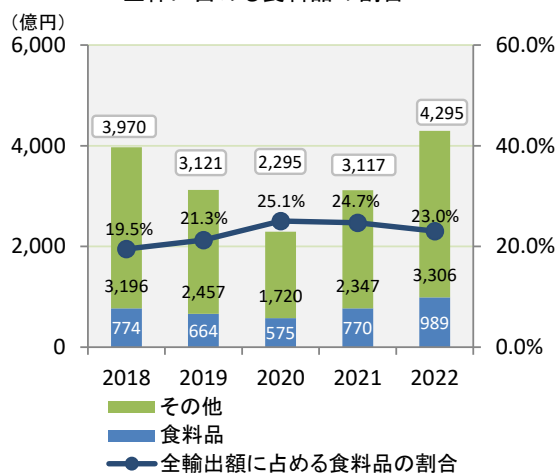
VI. 2022年の北海道における食料品輸出概況※

1. 北海道の輸出額全体に占める食料品の割合

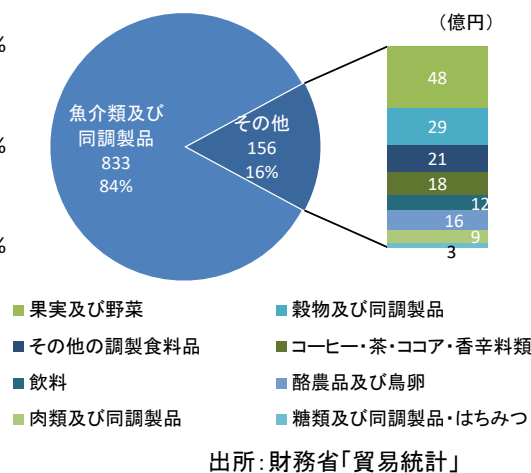
※本トピックでの食料品には、動物用飼料を含まない。

2022年に北海道から輸出された食料品の金額は、約989億円。
品目別では、「魚介類及び同調製品」が食料品全体の84.2%を占めている。

図表47 2018年から2022年までの輸出額全体に占める食料品の割合



図表48 2022年の食料品輸出額(品目別)



2. 主な品目別の食料品輸出額

北海道から主に輸出されている食料品は、「スキャロップ」、「なまこ」、「さけ」などの魚介類。
主な相手国は、中国、ベトナム、香港、台湾などのアジア向けが多い。

図表49 北海道における食料品輸出額上位10細品目(2022年 統計品目番号による)

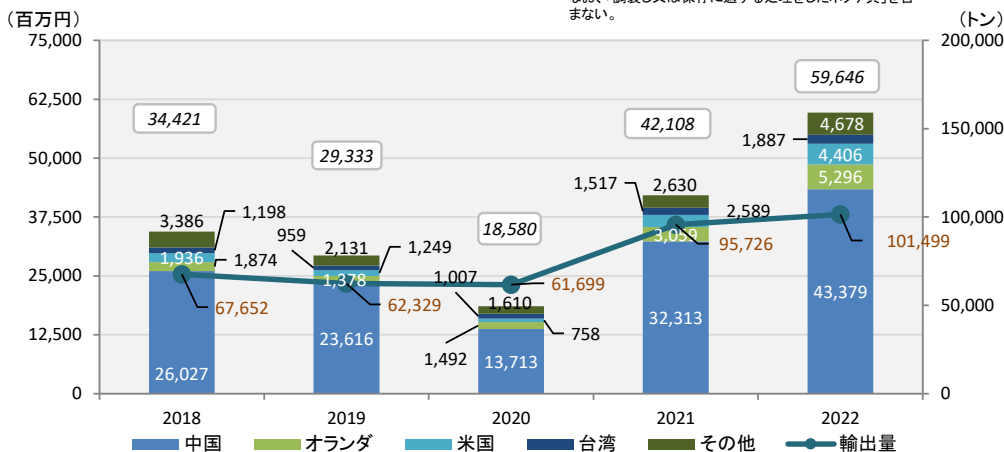
順位	品名	金額 (百万円)	主な相手国・地域
1	スキャロップ及びその他のいたやがい科の軟体動物のうち、冷凍したもの(完全に殻を除いたものは除く)	35,513	中国 35,276 ベトナム 186
2	スキャロップ及びその他のいたやがい科の軟体動物のうち、冷凍したもの(完全に殻を除いたもの)	22,344	中国 7,638 オランダ 5,296
3	冷凍したさけ科の魚のうち、べにざけ以外の太平洋さけ	6,074	ベトナム 2,729 中国 1,818
4	なまこ(乾燥したもの以外)	4,725	中国 3,352 台湾 1,358
5	なまこ(乾燥したもの)	2,997	香港 2,777 中国 196
6	スキャロップ及びその他のいたやがい科の軟体動物のうち、生きているもしくは生鮮のもの及び冷蔵したもの	1,699	香港 1,038 中国 431
7	いたや貝を含んだスキャロップ	1,520	中国 1,350 タイ 92
8	チョコレートその他のココア調製食料品(塊状、板状又は棒状で詰物をしていないもの。重量が2kg以下のもの)	1,461	シンガポール 256 米国 243
9	ばれいしょ	1,416	中国 984 台湾 168
10	パン、ペーストリー、ケーキ、ビスケットその他のベーカリー製品及び聖さん用ウエハー、医療用に適するオブラート、シーリングウエハー、ライスペーパーその他のもの(クリスマスブレッド、ジンジャーブレッド、スイートビスケット、ワッフル及びウエハー、ラスク、トーストパン、米菓子を除く)	1,371	中国 526 韓国 424

出所: 財務省「貿易統計」

2-①「魚介類及び同調製品」の輸出概況(その1)

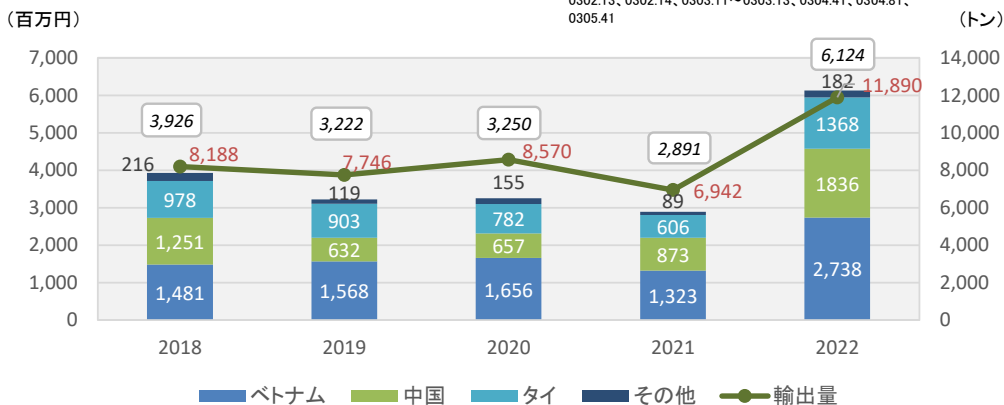
「魚介類及び同調製品」の2022年の輸出額は833億円で、中国、香港、オランダなどに輸出されている。品目別では、「さけ」は輸出量、輸出額ともに大幅に増加。「ほたて」も中国向けが増加しており、輸出額・輸出量ともに増加した。「なまこ」は中国向けが増加したが、香港向けが減少し、輸出数量・輸出金額が減少。

図表50 「ほたて」の輸出額及び輸出量の推移



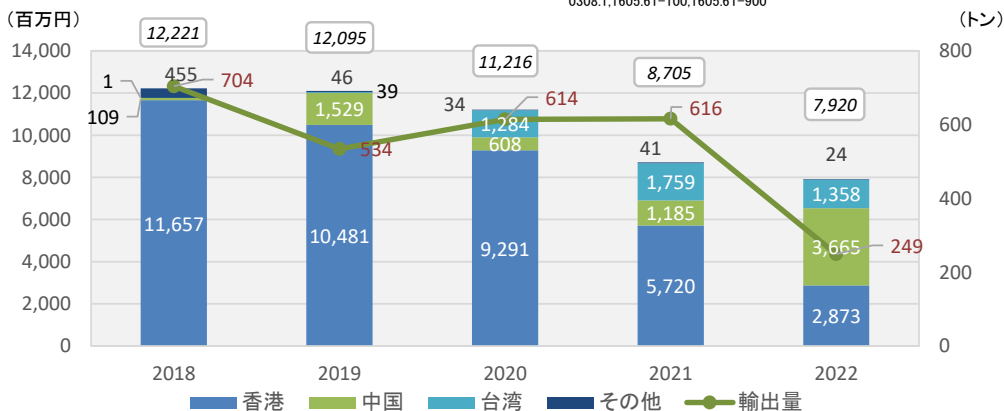
出所: 財務省「貿易統計」

図表51 「さけ」の輸出額及び輸出量の推移



出所: 財務省「貿易統計」

図表52 「なまこ」の輸出額及び輸出量の推移

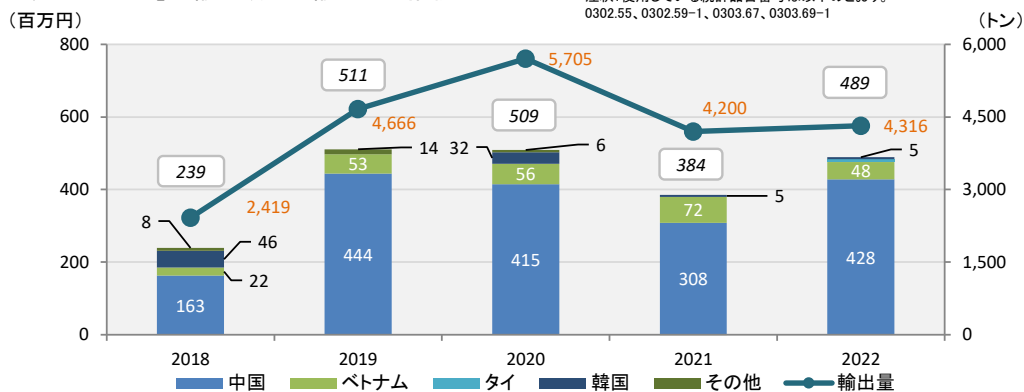


出所: 財務省「貿易統計」

2-①「魚介類及び同調製品」の輸出概況(その2)

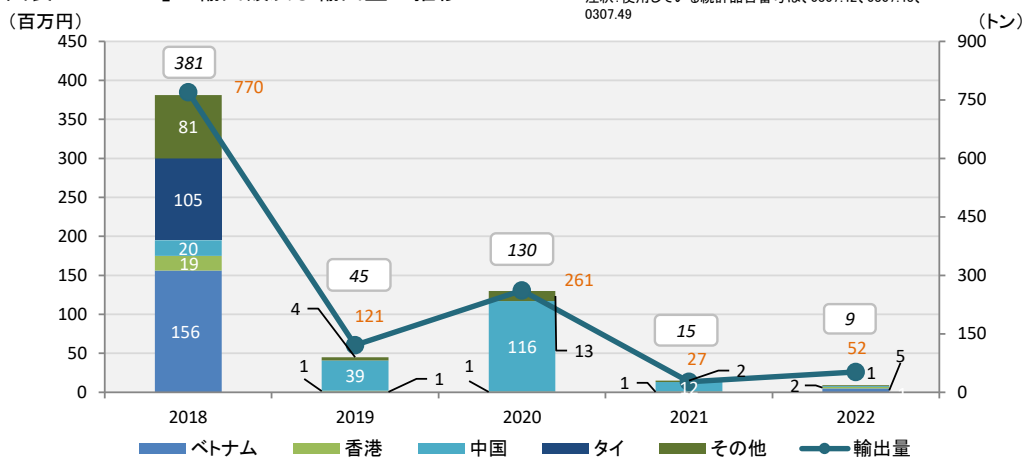
「たら」は中国向けが増加し、輸出量、輸出額ともに増加した。
 「いか」は、ベトナム向けが増加したが、全体の輸出量は増加したが、輸出額は減少した。
 「冷凍さんま」はロシア、台湾向けの増加により、輸出量の増加、輸出額が微増した。

図表53 「たら」の輸出額及び輸出量の推移



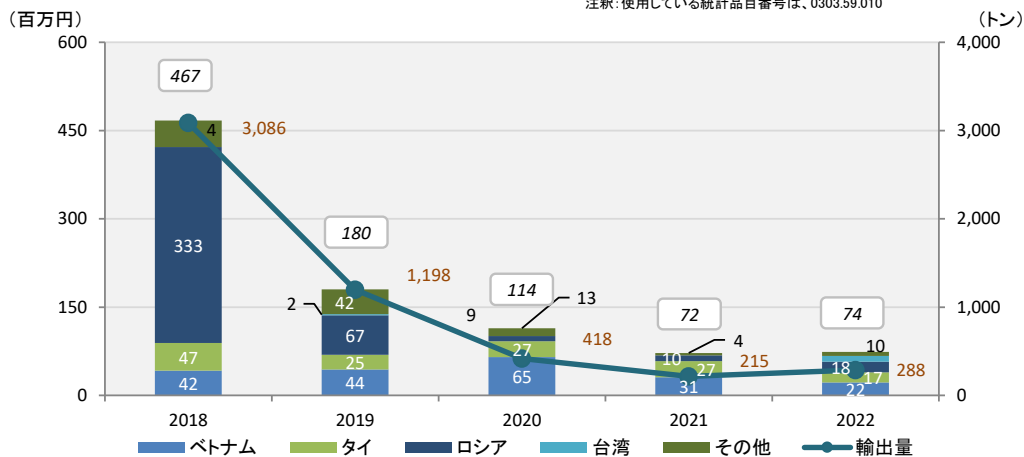
出所: 財務省「貿易統計」

図表54 「いか」の輸出額及び輸出量の推移



出所: 財務省「貿易統計」

図表55 「冷凍さんま」の輸出額及び輸出量の推移

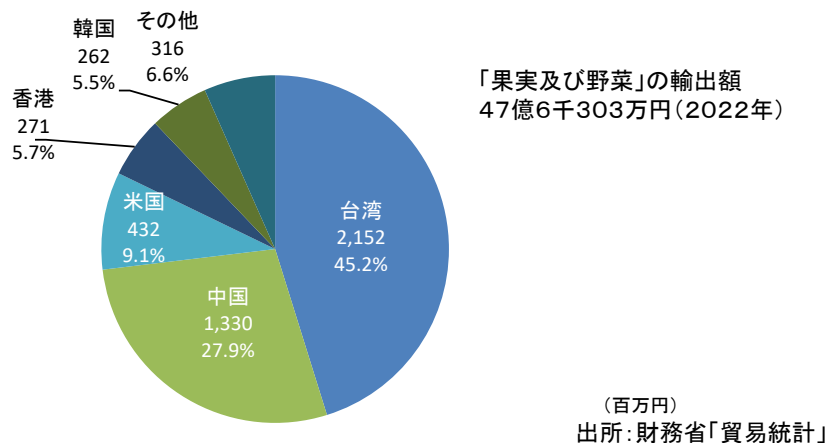


出所: 財務省「貿易統計」

2-②「果実及び野菜」の輸出概況

「果実及び野菜」の2022年の輸出額は約48億円で、主に台湾、中国、米国などに輸出されている。2022年、輸出が多かった品目は「ばれいしょ」、「たまねぎ及びシャロット」、「ながいも」などで、「ばれいしょ」は、中国や台湾に輸出されている。

図表56 「果実及び野菜」の主な輸出相手国・地域(2022年)



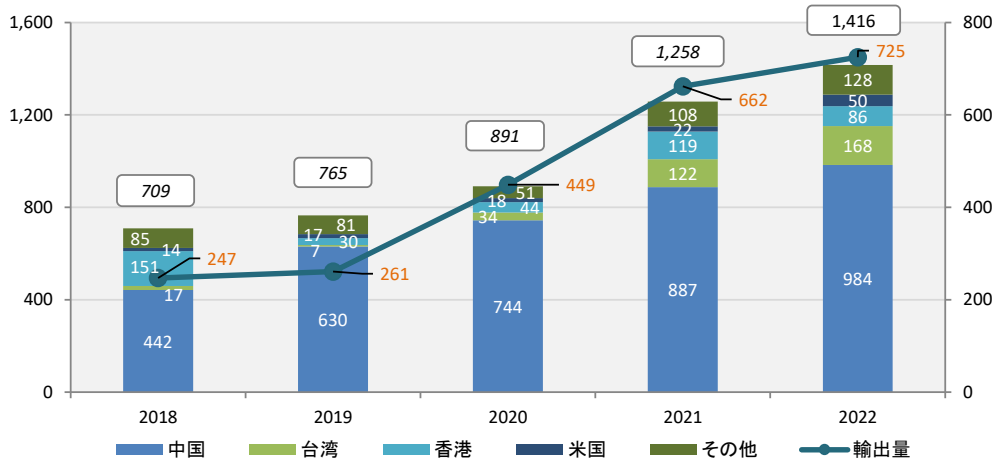
図表57 「果実及び野菜」輸出額上位5細品目(2022年 統計品目番号による)

順位	品名	金額(百万円)	主な相手国・地域
1	ばれいしょ	1,416	中国 984 台湾 168
2	たまねぎ及びシャロット	1,332	台湾 1126 韓国 198
3	ヤム芋(ディオスコレア属のもの)	1,245	台湾 791 米国 324
4	納豆	374	中国 341 韓国 32
5	メロン(すいかを含む。)のうち、その他のもの	124	香港 119 台湾 3

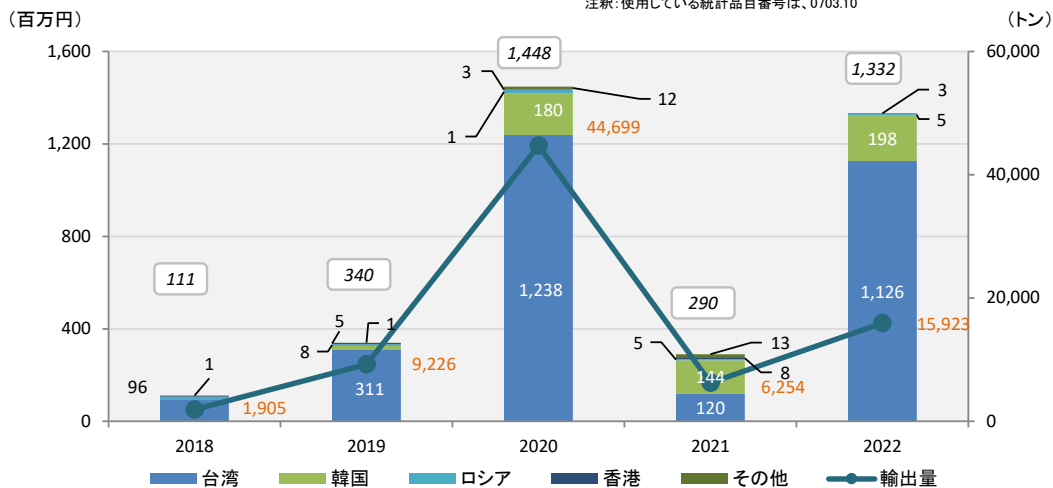
出所:財務省「貿易統計」

図表58 「ばれいしょ」の輸出額及び輸出量の推移
(百万円)

注釈:使用している統計品目番号は、2005.20 (トン)

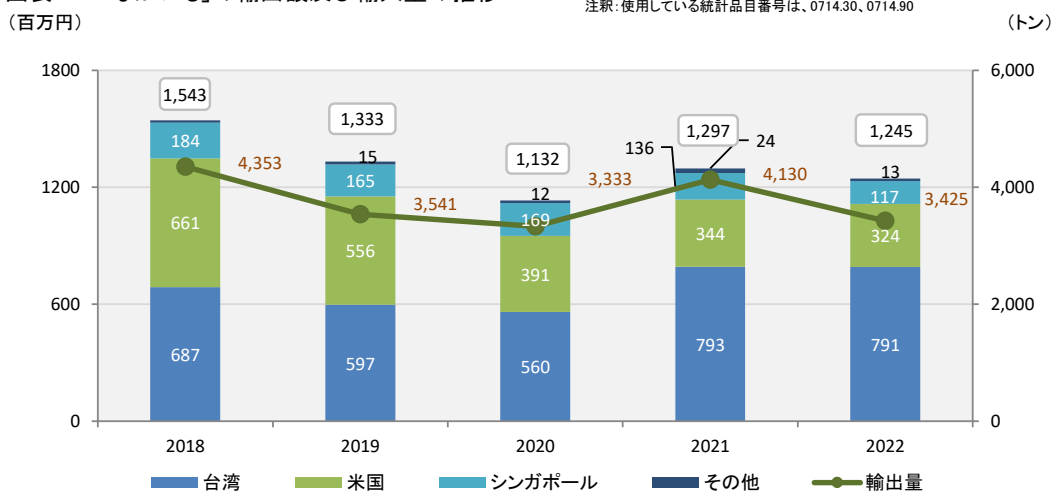


図表59 「たまねぎ」の輸出額及び輸出量の推移



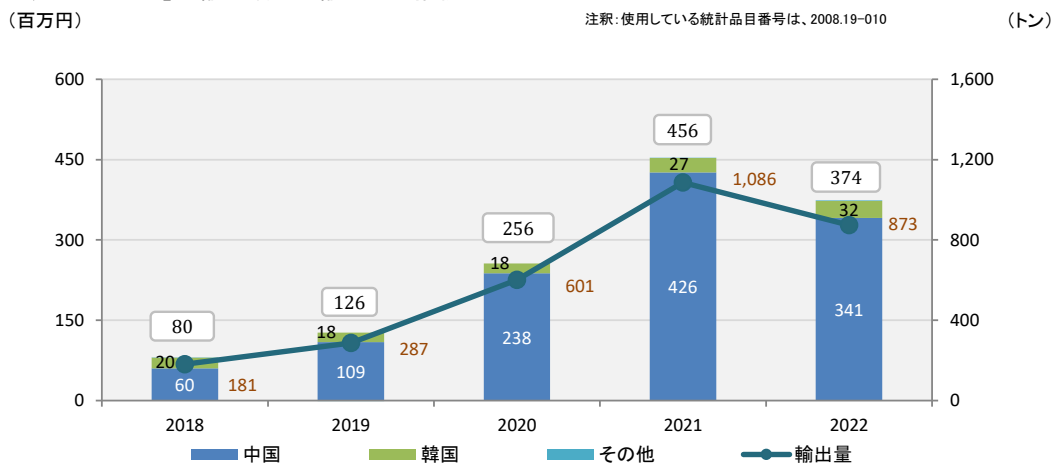
出所: 財務省「貿易統計」

図表60 「ながいも」の輸出額及び輸入量の推移



出所: 財務省「貿易統計」

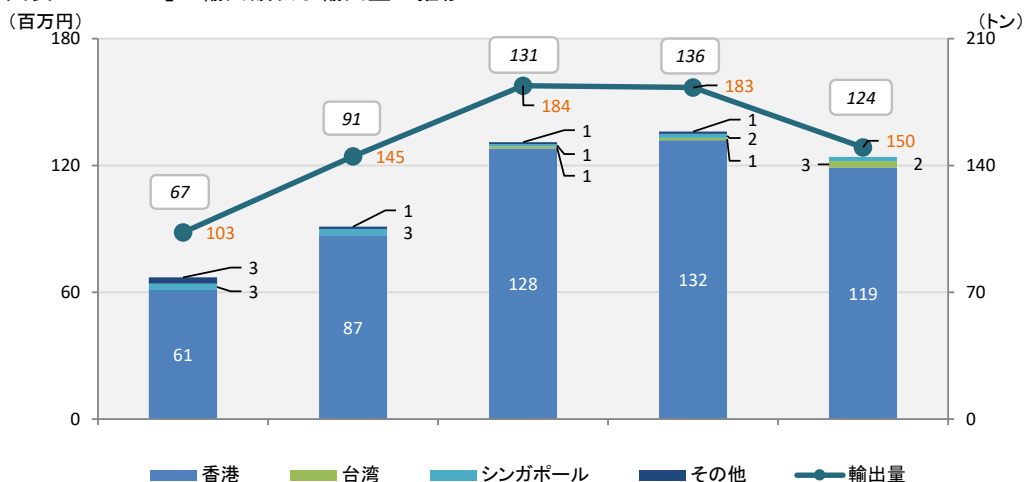
図表61 「納豆」の輸出額及び輸出量の推移



出所: 財務省「貿易統計」

図表62 「メロン」の輸出額及び輸出量の推移

注釈: 使用している統計品目番号は、0807.19

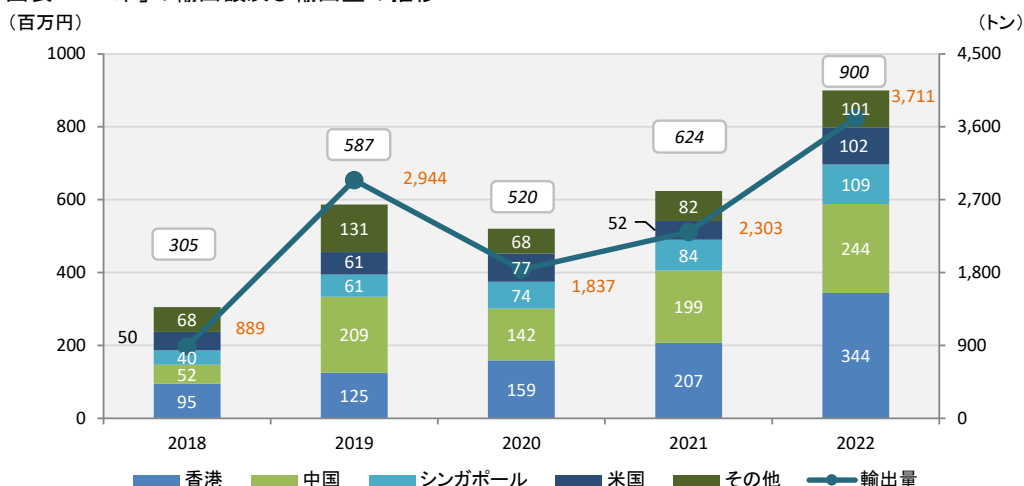


出所: 財務省「貿易統計」

2-③. 「その他の食料品」の輸出概況

図表63 「米」の輸出額及び輸出量の推移

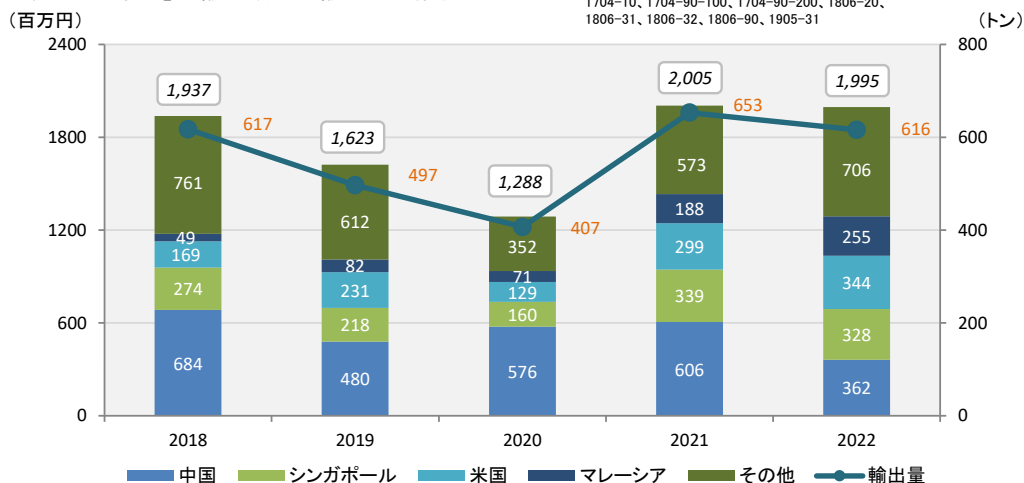
注釈: 使用している統計品目番号は、1006



出所: 財務省「貿易統計」

図表64 「菓子」の輸出額及び輸出量の推移

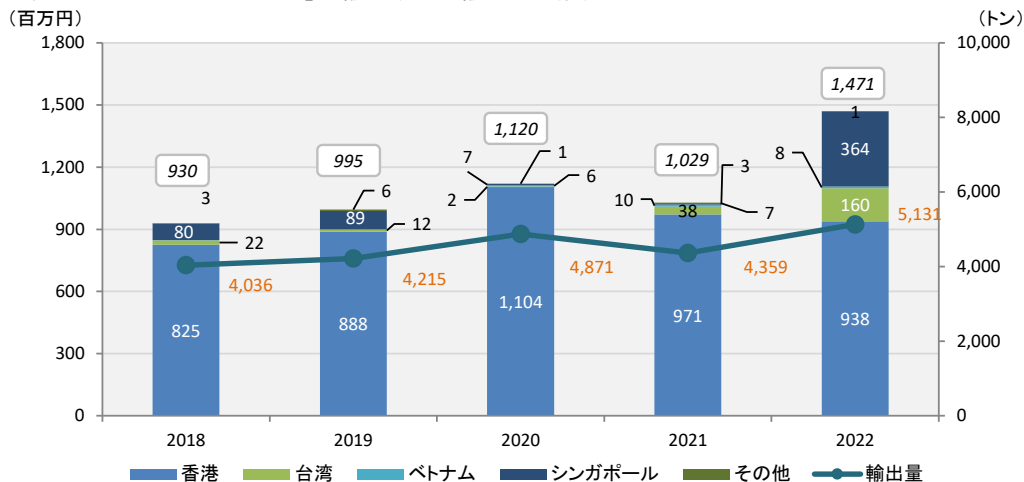
注釈: 使用している統計品目番号は以下のとおり。
1704-10、1704-90-100、1704-90-200、1806-20、
1806-31、1806-32、1806-90、1905-31



出所: 財務省「貿易統計」

図表65 「ミルク及びクリーム」の輸出額及び輸出量の推移

注釈：使用している統計品目番号は、0401、0402



出所：財務省「貿易統計」

図表66 「鶏卵」の輸出額及び輸出量の推移

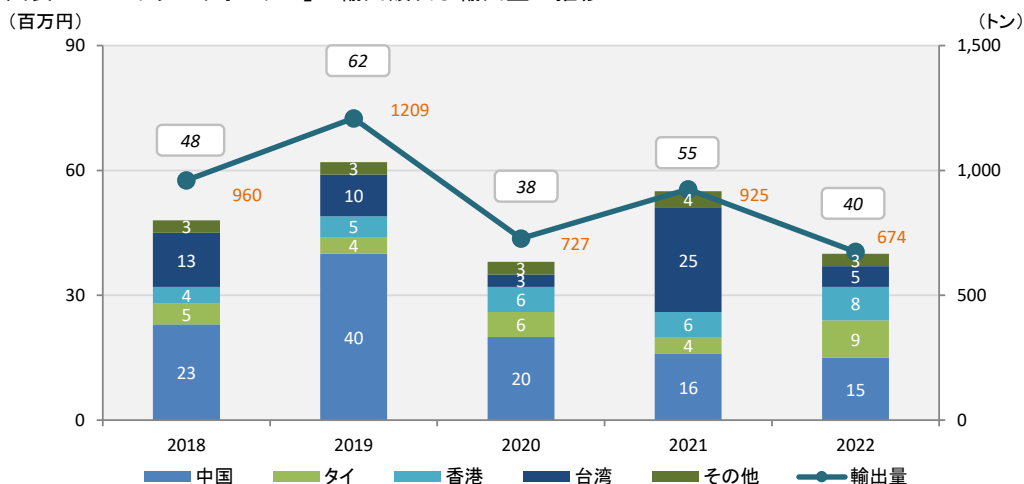
注釈：使用している統計品目番号は、0407.21-000



出所：財務省「貿易統計」

図表67 「ミネラルウォーター」の輸出額及び輸出量の推移

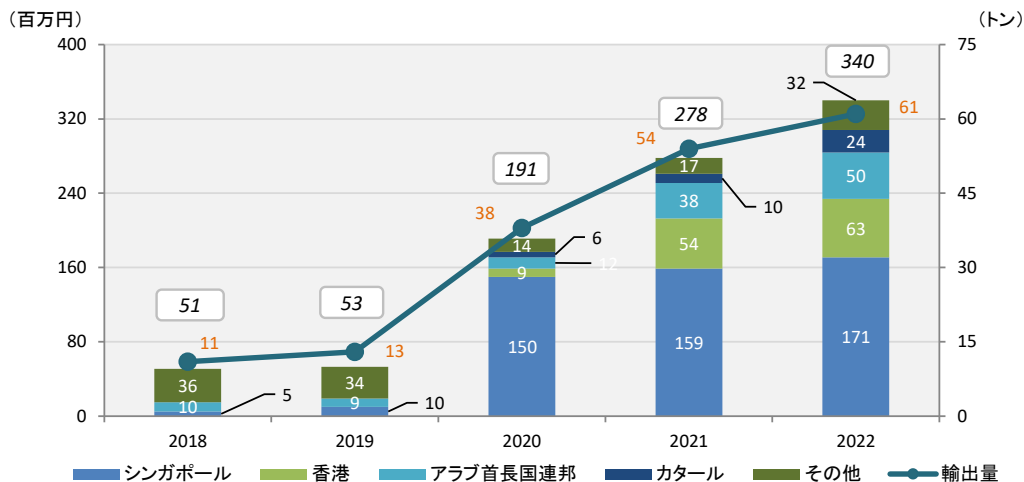
注釈：使用している統計品目番号は、2201



出所：財務省「貿易統計」

図表68 「牛肉」の輸出額及び輸出量の推移

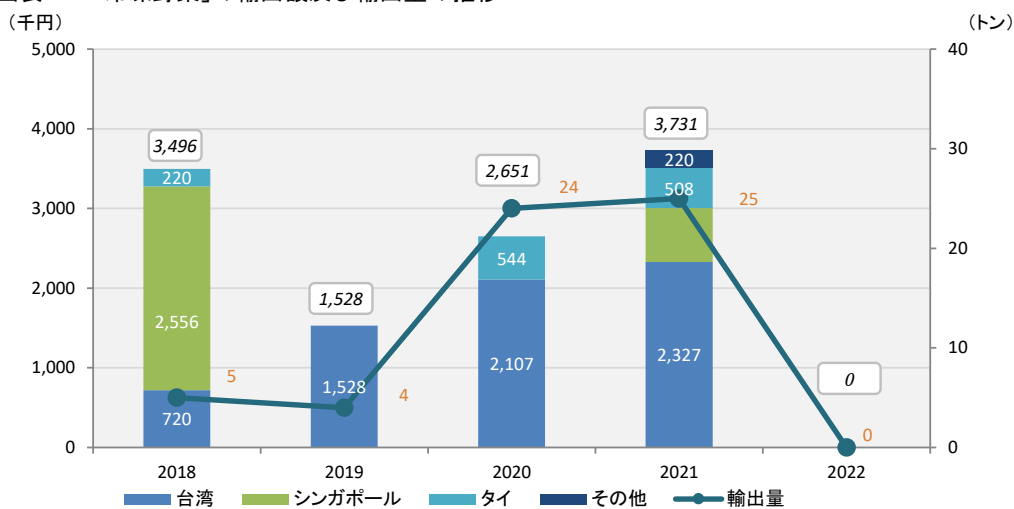
注釈：使用している統計品目番号は、0201、0202



出所：財務省「貿易統計」

図表69 「冷凍野菜」の輸出額及び輸出量の推移

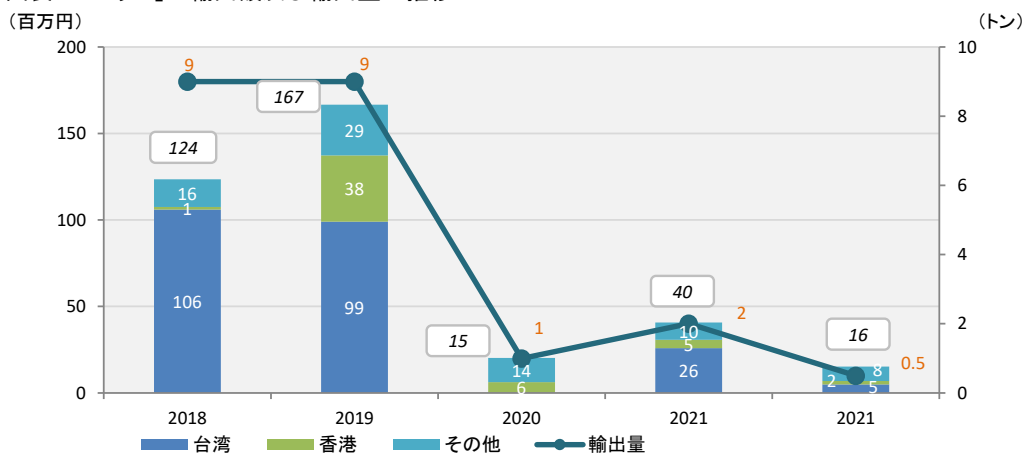
注釈：使用している統計品目番号は、0710



出所：財務省「貿易統計」

図表70 「うに」の輸出額及び輸出量の推移

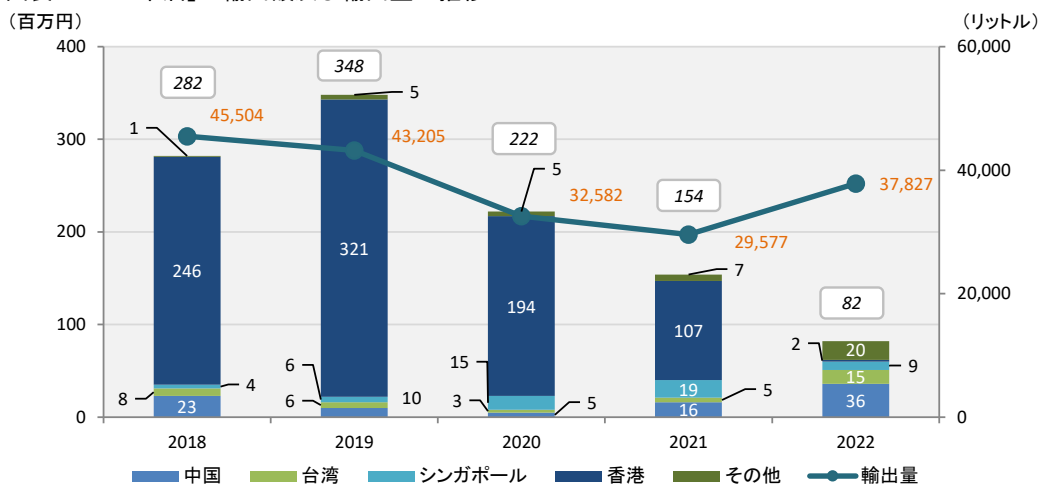
注釈：使用している統計品目番号は、0308.2と1605.62



出所：財務省「貿易統計」

図表71 「日本酒」の輸出額及び輸出量の推移

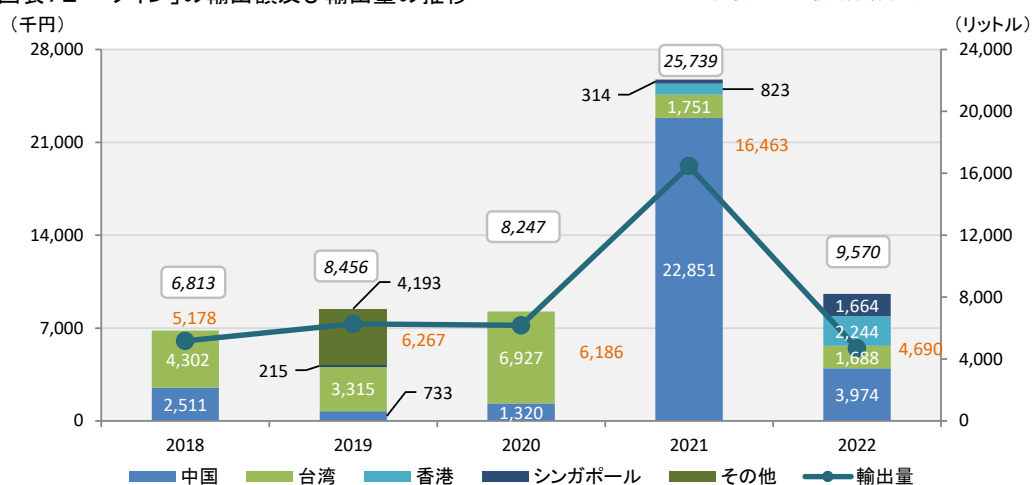
注釈：使用している統計品目番号は、2206.00-200



出所：財務省「貿易統計」

図表72 「ワイン」の輸出額及び輸出量の推移

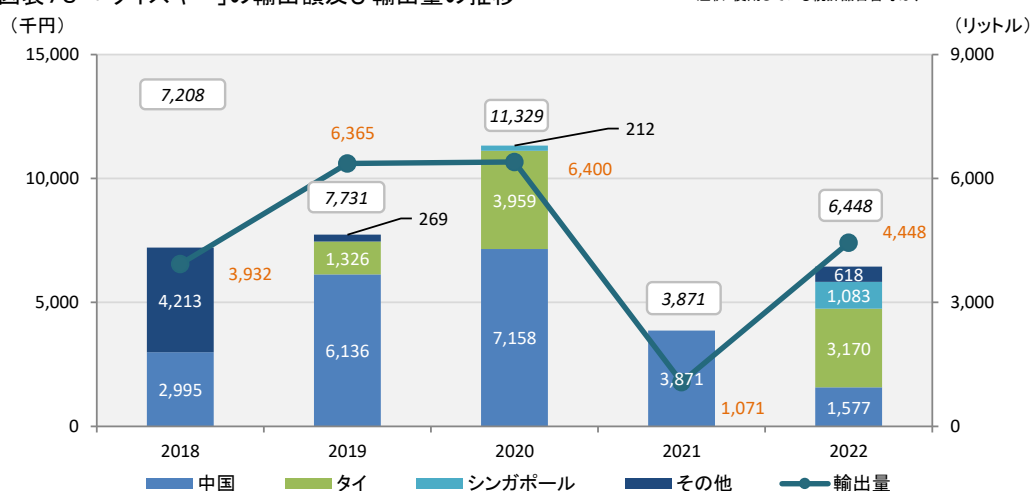
注釈：使用している統計品目番号は、2204



出所：財務省「貿易統計」

図表73 「ウイスキー」の輸出額及び輸出量の推移

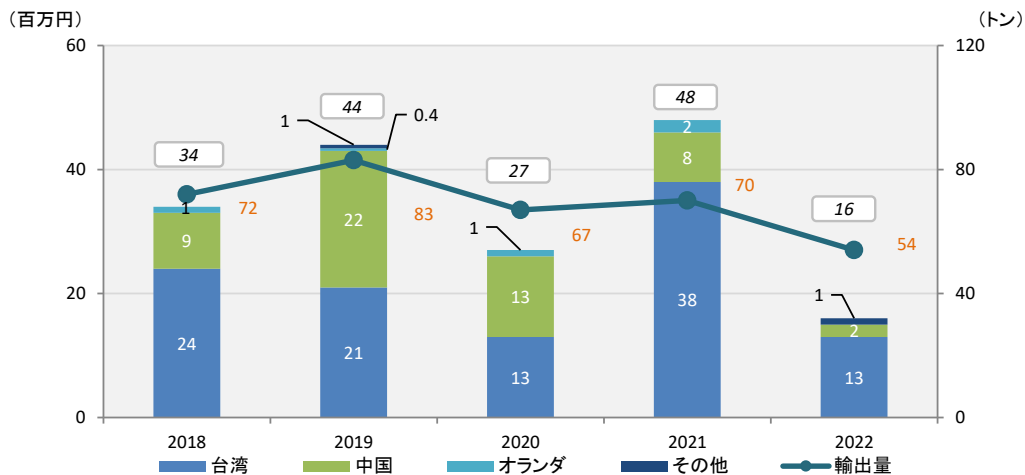
注釈：使用している統計品目番号は、2208.30.000



出所：財務省「貿易統計」

図表74 「昆布」の輸出額及び輸出量の推移

注釈：使用している統計品目番号は、1212.21-200

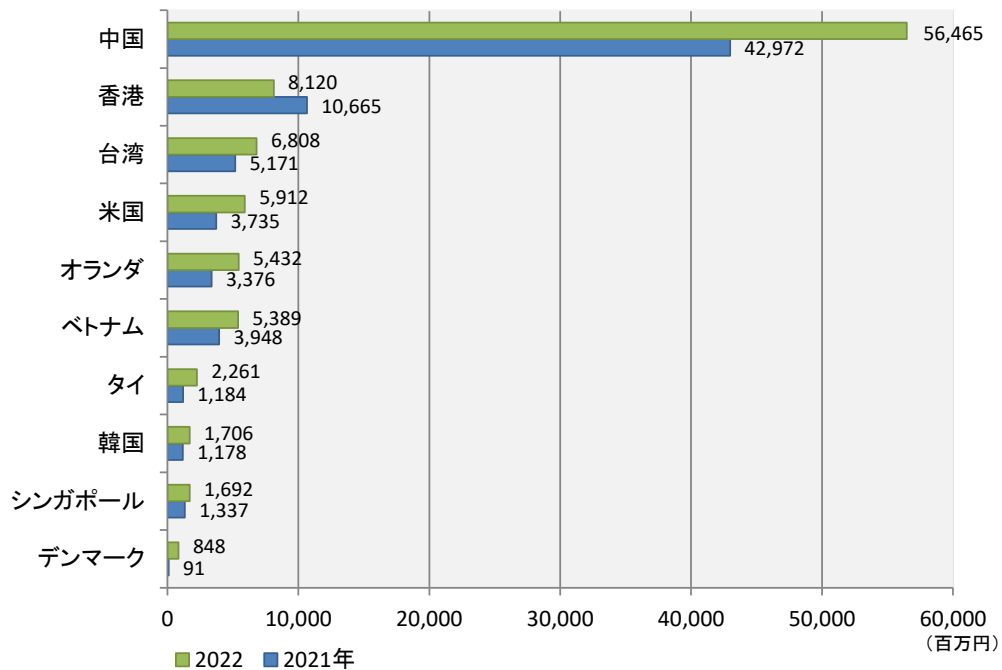


出所：財務省「貿易統計」

3. 食料品の主な輸出相手国・地域

2022年、北海道における食料品の輸出相手先をみると中国が最も多く、次いで、香港、台湾、米国、オランダなどの順になっている。

図表75 北海道における食料品の主な輸出相手国・地域



出所：財務省「貿易統計」

「目で見える北海道貿易」参考情報① ～北海道の貿易データ～

北海道の貿易データは、函館税関の「貿易統計」ウェブサイトで見ることが出来ますが、本資料のように特定の品目別、国・地域別の輸出入額や輸出入量を調べる場合は、「財務省貿易統計」の「統計表一覧」から、CSVデータをダウンロードし、エクセルの「フィルター」等の機能を使って必要な情報だけを抽出します。

CSVデータは「財務省貿易統計」の下記ページからダウンロードできます。ちなみに、本資料では主に「税関別品別国別表」や「税関別概況品別国別表」を使用しています。

普通貿易統計 > <http://www.customs.go.jp/toukei/info/tsdl.htm>

CSVデータはコード番号などの数字で構成されています。主なコードは下記のとおりです。

Custom: 港(税関)ごとのコード

税関別符号表 > <http://www.customs.go.jp/toukei/sankou/dgorder/a2.htm>

HS: HSコード(統計品目番号)

輸出統計品目表 > <http://www.customs.go.jp/yusyutu/index.htm>

輸入統計品目表 > <http://www.customs.go.jp/tariff/index.htm>

Commodity: 概況品コード

概況品コード表 > <http://www.customs.go.jp/toukei/sankou/code/code.htm>

Country: 国・地域別のコード

国名符号表 > <http://www.customs.go.jp/toukei/sankou/dgorder/a1.htm>

なお、全国の貿易データは、「財務省貿易統計」の「検索ページ」で簡単に検索することが出来ます。

貿易統計検索ページ > <http://www.customs.go.jp/toukei/srch/index.htm>

「目で見える北海道貿易」参考情報② ～「HSコード」と「概況品コード」について～

「HSコード」とは「統計品目番号」(とくに輸入の場合は「関税番号」「税番」といわれるもので、9桁の数字で表記されます。このコードの6桁目までは、HS条約に基づいて国際的に統一されており、輸出入とも共通です(7桁目以降の国内細分については、輸出と輸入では、必ずしも同じではありません)。

一方、「概況品コード」は、いくつかの統計品目をまとめて、より一般的な名称を付したもので、1、3、5、7、8桁のものがあります。

本資料では、主に「概況品コード」を用いて集計していますが、一部の表やグラフについては、「統計品目番号による」「使用している統計品目番号」と注記のうえ、「HSコード」を用いて集計しています。

特定品目の貿易額を調べる場合、まずは「HSコード」を確認することとなりますが、「HSコード」は必ずしも一つの品目に一つの番号とはなっていないため、調べたい品目だけの貿易額を抽出できない場合もありますので、注意が必要です。

「HSコード」と「概況品コード」につきましては、「目で見える北海道貿易」参考情報①でご紹介したウェブサイトよりご参照ください。

(例)「冷蔵のにんじん」の輸出額を調べたい場合。

「冷蔵のにんじん」のHSコードは、0706.10-000「にんじん及びかぶ(生鮮のもの及び冷蔵したのものに限る。)」ですが、この番号の輸出額には「生鮮・冷蔵のかぶ」や「生鮮のにんじん」も含まれているため、「冷蔵のにんじん」の輸出額だけを、貿易統計で調べることは出来ません。

Edited by

独立行政法人 日本貿易振興機構（ジェトロ）
北海道貿易情報センター

〒060-0001

北海道札幌市中央区北1条西2丁目北海道経済センター9階

TEL:011-261-7434

Email : SAP@jetro.go.jp